

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 L 9/08		G 0 9 C 1/00	6 4 0 Z 5 C 0 6 4
G 0 9 C 1/00	6 4 0	H 0 4 N 7/20	6 3 0 5 J 1 0 4
H 0 4 N 7/20	6 3 0		Z E C
	Z E C	H 0 4 L 9/00	6 0 1 C
			6 0 1 A
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 54 頁) 最終頁に続く			

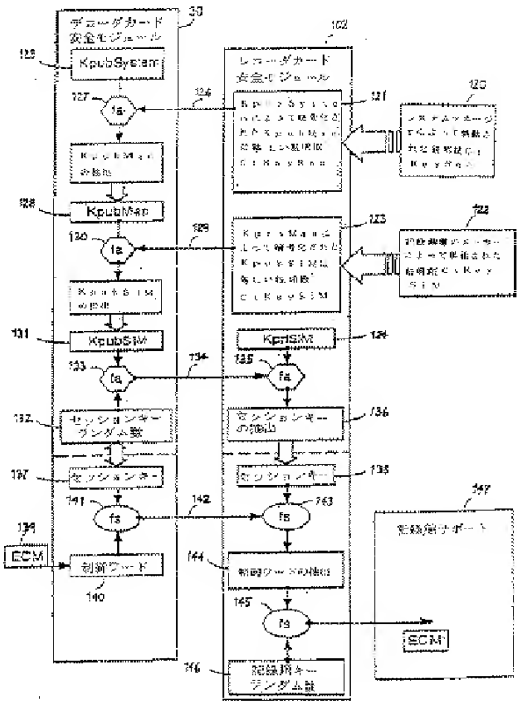
(21) 出願番号	特願2000-560729(P2000-560729)	(71) 出願人	カナル プラス ソシエテ アノニム フランス国 エフ-75711 パリ セデッ クス 15 クアイ アンドレ シトロエン 85/89
(86) (22) 出願日	平成11年7月14日(1999.7.14)	(72) 発明者	ダウボイス, ジャン-ラック フランス国 エフ-75116 パリ リュ ユージン マニユエル 19
(85) 翻訳文提出日	平成13年1月15日(2001.1.15)	(72) 発明者	ベナルデウ, クリスチャン フランス国 エフ-77600 セイント ジ ョージス アレ デス プイサティアス 13
(86) 国際出願番号	P C T / I B 9 9 / 0 1 3 2 3	(74) 代理人	弁理士 斉藤 武彦 (外1名)
(87) 国際公開番号	W O 0 0 / 0 4 7 1 8		
(87) 国際公開日	平成12年1月27日(2000.1.27)		
(31) 優先権主張番号	9 8 4 0 1 7 7 8 . 0		
(32) 優先日	平成10年7月15日(1998.7.15)		
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (E P)		
(31) 優先権主張番号	9 8 4 0 1 8 7 0 . 5		
(32) 優先日	平成10年7月22日(1998.7.22)		
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (E P)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 複数のデジタルオーディオビジュアル装置間での安全な情報通信のための方法および装置

(57) 【要約】

本発明は、少なくとも第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置（30，52）間で安全な情報通信を行い、第1の装置（30）が管理私用鍵Kp r i M a nによって暗号化されたトランスポート公開鍵Kp u b Tを含む証明証C t（Kp u b T）を第2の装置（52）に通信し、第2の装置（52）が等しい管理公開鍵Kp u b M a nを使用して証明証を暗号解読し、その後トランスポート公開鍵Kp u b Tを使用して第1の装置に送信された情報を暗号化し、第1の装置が等しい私用鍵Kp r i Tを使用してこの情報を暗号解読することを特徴とする方法に関するものである。本発明は、特に第1および第2のデコーダ間で安全な通信を行う方法に応用可能である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置間で安全な情報通信を行う方法であって、かつ前記第2の装置が、管理私用鍵で暗号化されたトランスポート公開鍵を含む証明証を受信し、前記第2の装置が、等しい管理私用鍵を使用して前記証明証を暗号解読し、その後前記トランスポート公開鍵を使用して前記第1の装置に送信された情報を暗号化し、前記第1の装置が等しい私用鍵を使用して前記情報を暗号解読することを特徴とする少なくとも第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置間で安全な情報通信を行う方法。

【請求項2】 前記トランスポート私用／公開鍵対が、前記第1および第2の装置に特に関連していることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記第2の装置によって送信された前記暗号化情報がセッション鍵を含むことを特徴とするいずれかの前述の請求項に記載の方法。

【請求項4】 前記セッション鍵が前記第2の装置によって生成され、かつ対称暗号化アルゴリズムで使用可能である鍵であることを特徴とする請求項3に記載の方法。

【請求項5】 前記セッション鍵が、その後に前記第2の装置に通信された制御ワード情報を暗号化するために前記第1の装置によって使用されることを特徴とする請求項3あるいは4に記載の方法。

【請求項6】 前記第2の装置が、前記等しいセッション鍵を使用して制御ワード情報を暗号解読し、その後この制御ワードに関連したスクランブル伝送のセクションをデスクランブルすることを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項7】 前記第1および第2の装置がそれぞれの第1および第2のポータブルセキュリティモジュールを含むことを特徴とするいずれかの前述の請求項に記載の方法。

【請求項8】 前記第2の装置が、システム私用鍵によって暗号化された前記管理公開鍵を含むシステム証明証を受信し、前記第2の装置が、その後前記暗号化トランスポート公開鍵を暗号解読するために使用される前記管理公開鍵を得るためにシステム公開鍵を使用して前記システム証明証を暗号解読することを特

徴とするいずれかの前述の請求項に記載の方法。

【請求項9】 前記第1の装置と前記第2の装置との間の前記通信リンクがバス接続によって実現されることを特徴とするいずれかの前述の請求項に記載の方法。

【請求項10】 前記第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置が第1および第2のデコーダを含むことを特徴とするいずれかの前述の請求項に記載の方法。

【請求項11】 前記第1および第2のデコーダがデジタルテレビジョン伝送を受信するように構成されていることを特徴とする請求項10に記載の方法。

【請求項12】 前記第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置がデコーダ装置およびレコーダ装置を含むことを特徴とする請求項1から9までのいずれかに記載の方法。

【請求項13】 デコーダ装置とレコーダ装置との間で安全な情報通信を行う方法であって、かつ前記装置の中の第1の装置が、管理私用鍵によって暗号化された装置公開鍵を含む証明証を前記第2の装置に通信し、前記第2の装置が、等しい管理私用鍵を使用して前記証明証を暗号解読し、その後前記トランスポート公開鍵を使用して前記第1の装置に送信された情報を暗号化し、前記第1の装置が等しい私用鍵を使用して前記情報を暗号解読することを特徴とするデコーダ装置とレコーダ装置との間で安全な情報通信を行う方法。

【請求項14】 前記第1の装置が、システム私用鍵によって暗号化された前記管理公開鍵を含むシステム証明証を前記第2の装置に通信し、前記第2の装置が、その後前記暗号化トランスポート公開鍵を暗号解読するために使用される前記管理公開鍵を得るためにシステム公開鍵を使用して前記システム証明証を暗号解読することを特徴とする請求項13に記載の方法。

【請求項15】 前記トランスポート私用／公開鍵対が、前記第1および第2の装置に特に関連していることを特徴とする請求項13あるいは14に記載の方法。

【請求項16】 前記管理私用／公開鍵対が、前記第1の装置の供給者と特

に関連していることを特徴とする請求項13～15のいずれかに記載の方法。

【請求項17】 前記管理私用／公開鍵対が、前記第2の装置の供給者と特に関連していることを特徴とする請求項14に記載の方法。

【請求項18】 前記第2の装置によって送信された前記暗号化情報がセッション鍵を含むことを特徴とする請求項13～17のいずれかに記載の方法。

【請求項19】 前記セッション鍵が前記第2の装置によって生成され、かつ対称暗号化アルゴリズムで使用可能である鍵であることを特徴とする請求項18に記載の方法。

【請求項20】 前記セッション鍵が、その後に前記レコーダ装置に通信された制御ワード情報を暗号化するために前記デコーダ装置によって使用されることを特徴とする請求項18あるいは19に記載の方法。

【請求項21】 前記レコーダ装置が、前記等しいセッション鍵を使用して前記制御ワード情報を暗号解読し、その後記録暗号化鍵を使用して前記制御ワード情報を再暗号化でき、前記再暗号化制御ワード情報が、この制御ワード情報に関連したスクランブル伝送データとともに記録支持媒体に前記レコーダ装置によって記憶されることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項22】 前記レコーダ装置が記録暗号化鍵のコピーを前記デコーダ装置に通信することを特徴とする請求項21に記載の方法。

【請求項23】 前記レコーダ装置が前記セッション鍵によって暗号化されるとき前記記録暗号化鍵のコピーを通信することを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項24】 前記レコーダ装置およびデコーダ装置の少なくとも1つが少なくとも1つの携帯セキュリティモジュールを含むことを特徴とする請求項13から23までのいずれかに記載の方法。

【請求項25】 前記第1の装置がレコーダ装置に対応し、かつ前記第2の装置がデコーダ装置に対応することを特徴とする請求項13から24までいずれかに記載の方法。

【請求項26】 前記デコーダ装置がデジタルテレビジョン伝送を受信するように構成されていることを特徴とする請求項13から25までのいずれかに

記載の方法。

【請求項27】 実質的にここに記載されているような少なくとも第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置間で安全な情報通信を行う方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、ネットワークで接続された複数のデジタルオーディオビジュアル装置間で安全な情報通信を行う方法および装置に関するものである。

【0002】

本発明は、スクランブルオーディオビジュアル情報が多数の加入者に放送されるデジタルテレビジョンの分野に特に応用可能であり、各加入者は、その後に見るための伝送プログラムをデスクランブルできるデコーダあるいは統合受信機／デコーダ（IRD）を所有する。

【0003】

典型的なシステムでは、スクランブルデジタルオーディオビジュアルデータは、デジタルデータをデスクランブルするための制御ワードとともに伝送され、制御ワードそのものは、利用鍵によって暗号化され、暗号化形式で伝送される。暗号化制御ワードを暗号解読し、その後伝送データをデスクランブルするために利用鍵の等価物を使用するデコーダは、スクランブルデジタルデータおよび暗号化制御ワードを受信する。支払済加入者は、特定のプログラムの視聴を可能にするように暗号化制御ワードを暗号解読するのに必要な利用鍵を周期的に受信する。暗号化鍵および暗号解読鍵は、従来はデコーダを個人の専有にするために使用されるスマートカードのような携帯セキュリティモジュールに記憶される。

【0004】

既存の加入管理システムはしばしば同じアドレスで同じ人のための第2の加入を許す際に難点を有するので、2つあるいはそれ以上のデコーダを有するユーザの場合に特定の問題が生じる。したがって、このような状況では、2つあるいはそれ以上のデコーダが同じ加入を使用して作動できることは有利である。

【0005】

ニュースデータコム社（News Datacom Limited）の名義のPCT特許出願WO 97/35430号はこの問題に対する1つの可能な解決策を示している。このシステムでは、一対のデコーダはマスタ／スレーブ構成で構成される。加入権は、マスタデコーダおよびその関連スマートカードによって

管理される。加入権をスレーブデコードに転送するために、スレーブスマートカードは、マスタデコードに一定の間隔で挿入されねばならない。このシステムの欠点は、ユーザがスレーブデコードのカードを手動で引き抜き、再装填し、取り換えることを余儀なくされるということである。

【0006】

他の提案された解決策は、マスタスマートカードにあるのと全く同じ権利を含む複製スマートカードの生成を含んだ。複数のデコードに全く同じ権利を与えることは望ましくないかもしれなく、クローンあるいは複製のカードの作成は常にリスク詐欺を招くので、このような解決策も望ましくない。

【0007】

デジタルシステムで伝送されたデータに関連した他の特定の問題は、無損失の品質を有する再生の容易さにある。デスクランブルプログラムは標準VCRによって視聴し、記録するためのアナログリンク（例えば、「ペリテル」リンク）を介して送られる場合、この品質は、標準アナログカセット記録に関連した品質よりも大きくないままである。

【0008】

対照として、直接デジタルリンクによって新しい世代のデジタル記録装置（例えば、DVHSあるいはDVDレコーダ）の1つに送られる任意のデスクランブルデジタルデータは、最初に伝送されたプログラムと同じ品質のものであるので、少しの画質あるいは音質の低下もなしに任意の回数再生できる。したがって、記録済デスクランブルデータは海賊コピーを作成するためにマスタ記録として使用されることはかなりのリスクがある。

【0009】

フランス特許出願9503859号は、この問題を解決する1つの方法を示している。このシステムでは、デスクランブルデジタルデータは、決してデジタル記録媒体に記録されない。その代わりに、この出願に記載されたデコードは、記録のためのデータをスクランブル形式で支持媒体に転送する。データをデスクランブルするのに必要な制御ワードは、他の鍵によって再暗号化され、スクランブルデータとともに記録支持体に記憶される。この新規の鍵は、受信機／デコ

ードにだけ既知であり、プログラムを視聴するための制御ワードを得るのに必要とされる利用鍵に取って代わる。

【0010】

このようなシステムの長所は、データが決して「暗号化されていない」形式で記憶されなく、デコーダに記憶された新規の鍵を所有しないで見ることができないことである。このシステムは、利用鍵は毎月変更するので、デジタルテープに登録された制御ワードを再暗号化するためのデコーダによって選択された鍵の使用がデコーダが加入月の終了後さえテープに記録された制御ワードをなお暗号解読できることを意味するという長所もある。

【0011】

この前述の特許出願に提案されたシステムの短所は、記録がこの特定のデコーダでのみ見ることができるということである。このデコーダが故障するかあるいは取り換えられる場合、記録はもはや再生できない。同様に、システムでデコーダを接続しないでデジタルレコーダで直接記録を再生できない。

【0012】

デコーダおよびレコーダがより効率的に作動できるように、装置間に安全化あるいは暗号化された通信リンクを備えることは望ましい。上記の説明から分かるように、デコーダおよびレコーダの相互作用は、例えば、スクランブル伝送が記録されるが、デコーダだけがこのような伝送を暗号解読するのに必要な情報を所有している場合、問題をもたらすかもしれない。装置間に安全なリンクを実現することによって、記録を作成するかあるいは再生するのに必要な情報は装置間に自由に送ることができる。

【0013】

一般的な実施形態および特定の実施形態における本発明の目的は、これらの従来技術のシステムの問題のいくつかあるいは全てを解決することにある。

【0014】

本発明によれば、少なくとも第1および第2のデジタルオーディオビジュアル装置間で安全な情報通信を行い、かつ第2の装置が、管理私用鍵で暗号化されたトランスポート公開鍵を含む証明証を受信し、第2の装置が、等しい管理私用

鍵を使用して証明証を暗号解読し、その後前記トランスポート公開鍵を使用して第1の装置に送信された情報を暗号化し、第1の装置が等しい私用鍵を使用して情報を暗号解読することを特徴とする方法を提供する。

【0015】

このような方法では、第1の装置は、管理私用鍵を使用して生成された証明証で個人の専有とされるマスタ装置の役割を引き受けることができる。この管理私用鍵は、システムマネージャによって秘密に保有され、証明証に記憶された情報から得られなくてもよい。第2の装置はスレーブ装置の役割を引き受けることができる。第2の装置によって保有されたトランスポート公開鍵によって暗号解読された情報は、第1の装置によって保有された等しい私用鍵によってだけ暗号解読されてもよい。後述されるように、この情報はその後、安全な両方向リンクを生じさせ、加入権および他の情報を転送するために使用されてもよい。

【0016】

有利なことには、トランスポート私用／公開鍵対は特に第1および第2の装置対に関連している。これは、第1の装置に伝送された全暗号化メッセージのセキュリティを保証する。

【0017】

理解されるように、独自の鍵の使用はセキュリティのレベルの増加を可能にするが、このような複写に関連したセキュリティリスクが比較的低い場合、例えば、異なる地域で分散された異なる対の装置に対して非独自の鍵を使用することがいくつかの場合に決定されてもよい。

【0018】

好ましくは、第2の装置によって送信された暗号化情報は、セッション鍵、特に第2の装置によって生成され、対称暗号化アルゴリズムで使用可能であるセッション鍵を含む。加入の転送のための通信セッションの開始で生成されてもよいこの鍵は、その後第1の装置と第2の装置との間での両方向情報通信のために使用できる。

【0019】

他の実施形態では、非対称アルゴリズムの私用／公開鍵対に対応するセッショ

ン鍵対が使用されてもよい。

【0020】

変更可能な対称セッション鍵の長所は、このような鍵が提供する増加されたセキュリティのレベルならびに可能にする両方向通信の可能性にある。それにもかかわらず、例えば、伝送関連情報が第2の装置によって保有されたトランスポート公開鍵を使用して直接に暗号化される他の実施形態が可能である。

【0021】

1つの実施形態では、セッション鍵は、その後第2の装置に通信された制御ワード情報を暗号化するために第1の装置によって使用される。このような実施形態では、第2の装置は、等しいセッション鍵を使用して制御ワード情報を暗号解読し、その後関連伝送あるいは表示するためのプログラムをデスクランブルする。

【0022】

1つの実施形態では、第1の証明証の通信前に、第2の装置は、システム私用鍵によって暗号化された管理公開鍵を含む二次システム証明証を受信し、第2の装置は、その後暗号化トランスポート公開鍵を暗号解読するために使用される管理公開鍵を得るためにシステム公開鍵を使用してシステム証明証を暗号解読する。

【0023】

この実施形態は、例えば、第1および第2の装置に対して異なる供給者が存在する場合、実施されてもよい。このシステム公開鍵は、例えば、第2の装置の供給者によって秘密に保有されてもよい。第2の装置の供給者が第1の装置の供給者のセキュリティの保全性を確信している場合、システム証明証が発行されるだけである。その後、指定された第1の装置の供給者は、第2の装置のスマートカードがこのようなカードの出所を認証できるように全ての第1の装置のスマートカードにこの証明証を埋め込む。

【0024】

理解されるように、第2の装置の供給者は、システム証明証を生成するために第1の装置の供給者の管理公開鍵だけを知る必要があり、どちらの当事者もこれ

らの認証動作を実行する際に私用暗号化鍵を共用する必要がない。

【0025】

装置間の安全な通信リンクは、伝送をデスクランブルすることに関する異なる情報あるいは他の題材さえ含む多数の異なる種類の情報を伝達するために使用されてもよい。特に、上記の実施形態は、制御ワード情報の暗号化および通信でのセッション鍵の使用を検討しているが、他の実施形態が可能である。例えば、記録されるオーディオおよび／またはビジュアルデータは、セッション鍵を使用して第1の装置によって直接暗号化され、暗号解読および表示のために第2の装置に直接通信されてもよい。

【0026】

他の実施形態は、例えば、第2の装置が制御ワード情報を暗号解読し、第1の装置と同じ方法で伝送をデスクランブルするために全ての動作を実行できるように第1の装置にある利用鍵を転送するために安全な通信リンクを使用してもよい。

【0027】

上記の説明は第1および第2の装置に関する暗号化動作および暗号解読動作を説明しているが、これらの動作および特にこのような動作に必要とされる鍵は、必ずしも装置そのものに永久に統合される要素によって管理あるいは保有される必要がないことを理解すべきである。

【0028】

特に、好ましい実施形態では、第1および第2の装置は、前述の暗号化ステップあるいは暗号解読ステップのいくつかあるいは全てを実行するために使用される第1および第2の携帯セキュリティモジュールをさらに含む。

【0029】

このような携帯セキュリティ装置は、この装置の物理サイズおよび特性に応じて任意の便宜的な形をとることができる。例えば、いくつかの場合、銀行カードと同等なスマートカードが使用されてもよいが、PCMCIA型式カードのような他のフォーマットが同様に可能である。

【0030】

2つの装置間の物理的通信リンクは、多数の形式、例えば、ラジオ、電話あるいは赤外線リンクをとってもよい。しかしながら、好ましくは、通信リンクは、バス、例えばIEEE 1394バスリンク上の第1および第2のデコーダの接続によって実現される。

【0031】

本発明は第1および第2の装置を参照して説明されているが、同じ原理が一連の装置間、例えば、単一マスタ装置と複数のスレーブ装置との間で一連の通信を生じさせるために使用されてもよい。

【0032】

本発明は、特に第1および第2のデコーダ間での安全な通信リンクの実現に応用可能であるが、排他的に第1および第2のデコーダ間での安全な通信リンクの実現に応用可能でない。しかしながら、他のデジタルオーディオビジュアル装置と併用するための本発明の他の応用は、例えば、2つのデジタルVCR等間でデコーダからデジタルVCRへの情報を暗号化することを思い描いてもよい。

【0033】

1つの好ましい実施形態では、この装置はデコーダ装置およびレコーダ装置を含んでもよい。したがって、本発明は、デコーダ装置とレコーダ装置との間で安全な情報通信を行い、かつ前記装置の中の第1の装置が、管理私用鍵によって暗号化された装置公開鍵を含む証明証を第2の装置に通信し、第2の装置が、等しい管理私用鍵を使用して証明証を暗号解読し、その後前記トランスポート公開鍵を使用して第1の装置に送信された情報を暗号化し、第1の装置が等しい私用鍵を使用して前記情報を暗号解読することを特徴とする方法に及ぶ。

【0034】

このような方法では、通信を開始する第1の装置は、管理私用鍵によって生成される証明証で個人の専用とされる。管理私用鍵は、この装置の責任を負う供給者（例えば、レコーダ装置メーカー）によって秘密に保有され、証明証に記憶された情報から得られなくてもよい。したがって、このような証明証の通信は、第2の装置に通信を開始する装置のIDおよび出所に関する保証レベルを与える。

【0035】

さらに、第2の装置によって保有される装置公開鍵によって暗号化された情報は、第1の装置によって保有される等しい私用鍵によってだけ暗号解読されてもよく、それによって第2の装置は第1の装置に秘密情報で通信できる。後述されるように、この情報はその後、安全な両方向リンクを生じさせるために使用されてもよい。

【0036】

好ましくは、第1の装置証明証の通信前、第1の装置は、システム私用鍵によって暗号化された管理公開鍵を含むシステム証明証を第2の装置に通信し、第2の装置は、その後装置証明証を暗号解読するために使用される管理公開鍵を得るためにシステム公開鍵を使用してシステム証明証を暗号解読する。

【0037】

私用システム鍵は、例えば、第2の装置の供給者（例えば、デコーダの責任を負う放送システムマネージャ）によって秘密に保有されてもよい。第2の装置の供給者が第1の装置の供給者でのセキュリティの保全性を確信する場合、すなわち第2の装置が、管理私用鍵が第1の装置の供給者によってのみ既知であることおよび必要な手段がこの鍵を秘密にするために適当に与えられることを確信する場合、システム証明証だけが発行される。

【0038】

理解されるように、第2の装置の供給者は、システム証明証を生成するために第1の装置の供給者の公開管理鍵だけを知る必要があり、どちらの当事者もこれらの証明動作を実行する際にその私用暗号化鍵を共用する必要がない。

【0039】

有利なことには、装置私用／公開鍵対は特に第1の装置に関連している。これは第1の装置に伝送された全暗号化メッセージのセキュリティを保証する。さらに有利なことには、管理私用／公開鍵対は、特に第1の装置の供給者に関連し、システム私用／公開鍵対（ある場合）は特に第2の装置の供給者に関連する。

【0040】

理解されるように、独自の鍵の使用はセキュリティのレベルの増加を可能にす

るけれども、いくつかの場合、非独自の鍵を使用することが決定されてもよい。例えば、第1の装置の大量生産の場合、このような複製に関連したセキュリティリスクは比較的低いので、このような装置が異なる地域に分散されたならば、これらの装置の中のいくつかは同じ装置の私用鍵を共用してもよい。

【0041】

好ましくは、第2の装置によって送信された暗号化情報は、セッション鍵、特に第2の装置によって生成され、対称暗号化アルゴリズムで使用可能なセッション鍵を含む。記録セッションの開始で生成されてもよいこの鍵は、その後第1および第2の装置間での両方向情報通信のために使用できる。

【0042】

他の実施形態では、非対称アルゴリズムの私用／公開鍵対に対応するセッション鍵対が使用されてもよい。

【0043】

変更可能なセッション鍵の長所は、このような鍵が与える増加されたセキュリティのレベルならびに対称セッション鍵が選択される場合にこのような鍵が可能にする安全な両方向通信の可能性にある。それにもかかわらず、記録動作に関連した情報が第2の装置によって保有される装置公開鍵を使用して直接暗号化されてもよい他の実施形態が可能である。

【0044】

1つの実施形態では、セッション鍵は、デコーダ装置によってレコーダ装置にその後に通信される制御ワード情報を暗号化するために使用される。このような実施形態では、レコーダ装置は、等しいセッション鍵を使用して制御ワード情報を暗号解読し、その後記録暗号化鍵を使用して制御ワード情報を再暗号化してもよく、再暗号化制御ワード情報は、この制御ワード情報に関連したスクランブル伝送データとともに記録支持媒体上にレコーダによって記憶される。

【0045】

レコーダ装置によって保有される記録鍵を使用して制御ワード情報の暗号化によって、レコーダ装置は、伝送を受信し、転送するために最初に使用されるデコーダ装置とは無関係に記録済スクランブル伝送をいつでも再生できる。

【0046】

有利なことには、レコーダ装置は記録暗号化鍵のコピーをデコーダ装置に通信する。これは通信前にセッション鍵によって便宜的に暗号化されてもよい。このコピーは、その後デコーダによって暗号解読され、記録鍵のバックアップ鍵はデコーダに記憶されてもよい。

【0047】

理解されるように、安全な通信リンクは、多数の異なる種類の情報を伝達するために使用されてもよい。特に、上記の実施形態は記録動作で使用するための制御ワードの暗号化および通信でのセッション鍵の使用を検討しているが、他の実施形態が可能である。例えば、記録されるオーディオおよび／またはビジュアルデータは、セッション鍵を使用してデコーダによって直接暗号化され、記録前の暗号解読およびその後の再暗号化のためにレコーダに通信されてもよい。

【0048】

他の実施形態は、例えば、レコーダ装置が記録支持媒体上への再暗号化あるいは再スクランブル形式でのその記録前に制御ワード情報を暗号解読するおよび／またはデスクランブルする全ての動作を実行できるようにデコーダ利用鍵をレコーダ装置に転送するために安全な通信リンクを使用してもよい。

【0049】

上記の説明は、デコーダ装置あるいはレコーダ装置に関する暗号化動作を説明しているが、これらの動作および特にこのような動作に必要とされる鍵は装置そのものに永久に統合される要素によって必ずしも処理される必要がないことを理解すべきである。

【0050】

特に、好ましい実施形態では、レコーダおよび／またはデコーダ装置は、この装置に関連し、前述の暗号化ステップあるいは暗号解読ステップのいくつかあるいは全てを実行するために使用される携帯セキュリティモジュールをさらに含む。

【0051】

このような携帯セキュリティ装置は、デコーダあるいはレコーダの物理的サイ

ズおよび特性に応じて任意の便宜的な形をとることができる。例えば、スマートカードあるいはP C M C I A型式カードは、デコーダと併用されてもよいし、S I Mカードあるいは類似のカードはレコーダと併用されてもよい。

【0052】

本発明の特定の好ましい実施形態では、第1の装置はレコーダ装置に対応し、第2の装置はデコーダ装置に対応する。このようなシステムでは、デコーダシステムマネージャは、例えば、レコーダメーカーに出される証明証の生成に対する最終制御を有する。同様な通信はレコーダによって開始され、レコーダが正しいシステム証明証および／または管理証明証を通信した場合、デコーダは、両方向通信を生じさせるように必要とされる情報を含む暗号化メッセージだけを通信する。

【0053】

デコーダおよびレコーダが物理的に分離される場合、本発明は特に便利であるが、本発明は、例えば、組合せ装置内のレコーダ装置とデコーダ装置との間に安全なバスリンクを提供するように組合せのレコーダ装置／デコーダ装置で同様に使用されてもよい。

【0054】

本発明は、デコーダがデジタルテレビジョン伝送を受信するように構成されるデジタルテレビジョン伝送システムと併用するために特に構成されるが、排他的に構成されていない。

【0055】

本発明は、通信の方法に関して上記に記載された。本発明は、同様にこのような方法で使用するために構成された第1および第2の装置およびこのようなシステムで使用するために構成された1つあるいはそれ以上の携帯セキュリティモジュールに及ぶ。

【0056】

私用／公開鍵を生成するための本発明で使用するのに適しているアルゴリズムは、例えば、R S Aあるいはディフィー・ヘルマンを含んでもよく、適当な対称鍵アルゴリズムは、例えばD E S形式アルゴリズムを含んでもよい。しかしながら

、状況からみて必須でない限りあるいは別段の指定がない限り、対称アルゴリズムに関連した鍵と公開／私用アルゴリズムに関連した鍵との一般的な区別は全然行われたい。

【0057】

用語「スクランブル」および「暗号化」および「制御ワード」および「鍵」は、用語を明瞭にする目的のために本文のいろいろの部分で使用された。しかしながら、「スクランブルデータ」と「暗号化データ」との基本的な区別あるいは「制御ワード」と「鍵」との基本的な区別が全然行われるべきでない。同様に、用語「等しい鍵」は、最初に述べた鍵によって暗号化されるデータを暗号解読するように構成される鍵、またその逆に構成される鍵を示すために使用される。

【0058】

ここで使用されるような用語「受信機／デコーダ」あるいは「デコーダ」は、符号化信号あるいは非符号化信号のいずれか、例えば、いくつかの他の手段によって放送あるいは伝送されてもよいテレビジョン信号および／またはラジオ信号を受信する受信機を含んでもよい。前記用語は、また受信信号を復号化する為のデコーダを含む。このようなデコーダの実施形態は、受信信号を復号化する受信機と一体のデコーダ、例えば、「セットトップボックス」において、物理的に別個の受信機と組合せて作動するデコーダ、あるいはウェブブラウザあるいはビデオレコーダあるいはテレビジョンのような付加的機能を含むこのようなデコーダも含んでもよい。

【0059】

ここで使用されるように、用語「デジタル伝送システム」は、例えば、主にオーディオビジュアルあるいはマルチメディアデータを伝送するかあるいは放送するいかなる伝送システムも含む。本発明は放送デジタルテレビジョンシステムに特に応用可能であるが、本発明は、マルチメディアインターネット用途のための固定電気通信ネットワーク、閉回路テレビジョン等にも応用可能であってもよい。

【0060】

ここで使用されるように、用語「デジタルテレビジョンシステム」は、例え

ば任意の衛星、地上、ケーブルおよび他のシステムを含む。

【0061】

次に、下記の図を参照して多数の本発明の実施形態だけを例として説明される。

【0062】

デジタルテレビジョン放送および受信システム1の概要が図1に示されている。本発明は、圧縮デジタル信号を伝送するためにMP E G - 2圧縮システムを使用する大部分の従来デジタルテレビジョンシステム2を含んでいる。より詳細には、放送センターのMP E G - 2圧縮器3はデジタル信号ストリーム（例えば、オーディオあるいはビデオ信号のストリーム）を受信する。圧縮器3は、リンク装置5によってマルチプレクサ・スクランブラ4に接続されている。マルチプレクサ4は、複数の他の入力信号を受信し、1つあるいはそれ以上のトランスポートストリームを組み立て、もちろん通信リンクを含むいろいろの形式をとることができるリンク装置7を介して圧縮デジタル信号を放送センターの送信機6に送信する。

【0063】

送信機6は、電磁信号が電子的に処理され、概念的なダウンリンク10を介して従来はエンドユーザによって所有されるかあるいは賃貸されるディッシュアンテナの形の地上受信機11に放送される衛星トランスポンダ9の方へ電磁信号をアップリンク8を介して送信する。受信機11によって受信された信号は、エンドユーザによって所有されるかあるいは賃貸され、エンドユーザのテレビセット13に接続される統合受信機／デコーダ12に送信される。受信機／デコーダ12は、圧縮MP E G - 2信号をテレビセット13のためのテレビジョン信号に復号化する。

【0064】

条件付アクセスシステム20は、マルチプレクサ4および受信機／デコーダ12に接続され、一部は放送センターにあり、一部はデコーダにある。それによって、エンドユーザは、1つあるいはそれ以上の放送サプライヤーからのデジタルテレビジョン放送をアクセスできる。コマーシャル提供（すなわち、放送サブ

ライヤーによって販売された1つあるいはいくつかのテレビジョンプログラム)に関連するメッセージを暗号解読できるスマートカードは受信機／デコーダ12に挿入できる。デコーダ12およびスマートカードを使用して、エンドユーザは、加入モードあるいはペイ・パー・ビューモードのいずれかでイベントを購入してもよい。

【0065】

マルチプレクサ4および受信機／デコーダ12にも接続され、さらに一部は放送センターにあり、一部はデコーダにある対話システム17は、エンドユーザがモデムバックチャネル16を介していろいろのアプリケーションと対話できるように備えられてもよい。

【0066】

次に、条件付アクセスシステム20はより詳細に説明される。図2を参照すると、概要において、条件付アクセスシステム20は、加入者許可システム(SAS)21を含む。SAS21は、例えば、それぞれのTCP-IPリンク装置23によって各々が各放送サプライヤーのための1つあるいはそれ以上の加入者管理システム(SMS)22に接続される(他の種類のリンク装置がその代わりに使用できるけれども)。それとは別に、1つのSMSは、2つの放送サプライヤー間で共有でき、また1つのサプライヤーは2つのSMS等を使用できる。

【0067】

「マザー」スマートカード25を使用する演算装置24の形の第1の暗号化装置は、リンク装置26によって接続されている。さらに、マザースマートカード28を使用する演算装置27の形の第2の暗号化装置は、リンク装置29によってマルチプレクサ4に接続されている。受信機／デコーダ12は、例えば、「ドーター」スマートカード30の形の携帯セキュリティモジュールを収容する。この受信機／デコーダ12は、モデムバックチャネル16を介して通信サーバ31によってSAS21に直接接続される。SASは、特に加入権を要求に応じてドータースマートカードに送信する。

【0068】

スマートカードは1人あるいはそれ以上の商業上のオペレータの秘密を含む。

「マザー」スマートカードは異なる種類のメッセージを暗号化し、「ドーター」スマートカードは、暗号解読する権利を有する場合、このメッセージを暗号解読する。

【0069】

第1および第2の演算装置24および27は、ラックと、EEPROMに記憶されたソフトウェアを有する電子VMEカードと、最高20枚の電子カードと、各電子カードのための1枚のスマートカード25および28とをそれぞれ備え、1枚のカード28はECMを暗号化するためのものであり、1枚のカード25はEMMを暗号化するためのものである。

【0070】

次に、デジタルテレビジョンシステムの条件付アクセスシステム20の動作は、テレビジョンシステム2および条件付アクセスシステム20のいろいろの構成要素を参照してより詳細に説明される。

【0071】

(マルチプレクサおよびスクランブラ)

図1および図2を参照すると、放送センターでは、デジタルオーディオあるいはビデオ信号は、MP EG - 2圧縮器3を使用して最初に圧縮される（あるいはビットレート減少される）。次に、この圧縮信号は、他の圧縮データのような他のデータと多重化されるためにリンク装置5を介してマルチプレクサ・スクランブラ4に伝送される。

【0072】

このスクランブラは、スクランブル処理で使用され、マルチプレクサでMP EG - 2ストリームに含められる制御ワードを生成する。制御ワードは、内部で生成され、この制御ワードによって、エンドユーザの統合受信機／デコーダ12はプログラムをデスクランブルできる。

【0073】

いかにプログラムが商品化されるかを示すアクセス基準はMP EG - 2にも付加される。このプログラムは、多数の「加入」モードの中の1つおよび／または多数の「ペイ・パー・ビュー」(PPV)モードの中の1つのいずれかで商品化

されてもよい。加入モードでは、エンドユーザは、1つあるいはそれ以上のコマーシャル提供、あるいは「ブーケ (bouquet)」に加入する、したがってこれらのブーケ内部のあらゆるチャンネルを見る権利を得る。好ましい実施形態では、最高960のコマーシャル提供はチャンネルのブーケから選択されてもよい。

【0074】

ペイ・パー・ビューモードでは、エンドユーザは、望むようなイベントを購入する能力を備えられている。これは、前以てイベントをプレブッキングするか（プレブックモード）あるいはイベントが放送されるや否や事象を購入する（「インパルスモード」）のいずれかによって得ることができる。好ましい実施形態では、全てのユーザは加入モードあるいはPPVモードで見ても見なくても、全てのユーザは加入者であるが、もちろんPPV視聴者は必ずしも加入者である必要がない。

【0075】

（権利付与制御メッセージ）

制御ワードおよびアクセス基準の両方は、権利付与制御メッセージ（ECM）を形成するために使用される。これは、スクランブルプログラムに関して送信されたメッセージである。すなわち、このメッセージは、放送プログラムの制御ワード（プログラムのデスクランブルを可能にする）およびアクセス基準を含む。アクセス基準および制御ワードは、リンク装置29を介して第2の暗号化装置27に伝送される。この装置では、ECMは、生成され、暗号化され、マルチプレクサ・スクランブラ4上に伝送される。放送伝送中、制御ワードは、一般的には2、3秒毎に変わるので、ECMも、変更制御ワードがデスクランブルできるように周期的に伝送される。冗長性目的のために、各ECMは、一般的には2つの制御ワード、すなわち現制御ワードおよび次制御ワードを含む。

【0076】

データストリームで放送サプライヤーによって放送される各サービスは、多数の別個の構成要素を含む。すなわち、例えば、テレビジョンプログラムは、ビデオ構成要素、オーディオ構成要素、サブタイトル構成要素等を含む。サービスのこれらの構成要素の各々は、トランスポンダ9へのその後の放送のために個別に

スクランブルされ、暗号化される。サービスの各スクランブル構成要素に関しては、別個のECMが必要とされる。それとは別に、単一ECMは、サービスのスクランブル構成要素の全てに対して必要とされてもよい。複数のECMは、複数の条件付アクセスシステムが同じ伝送プログラムへのアクセスを制御する場合にも生成される。

【0077】

(権利付与管理メッセージ (EMM))

EMMは、個別エンドユーザ（加入者）、あるいはエンドユーザのグループに専用のメッセージである。各グループは所与の数のエンドユーザを含んでもよい。グループとしてのこの構成はバンド幅を最適化することに向けている。すなわち、1グループへのアクセスは多数のエンドユーザの獲得を可能にすることができる。

【0078】

様々な特定の種類のEMMを使用できる。個別のEMMは個別の加入者の専用であり、一般的にはペイ・パー・ビューサービスの手段で使用される。すなわち、これらは、このグループの加入者のグループ識別子およびポジションを含む。

【0079】

グループ加入EMMは、例えば256の個別のユーザのグループの専用であり、一般的にはいくつかの加入サービスの管理で使用される。このEMMは、グループ識別子および加入者のグループビットマップを有する。

【0080】

視聴者EMMは、全視聴者の専用であり、例えば、所定の自由サービスを行うために特定のオペレータによって使用されてもよい。「視聴者」は、同じ条件付アクセスシステム識別子 (CA ID) を持つスマートカードを有する加入者全体である。最後に、「独自の」EMMはスマートカードの独自の識別子にアドレス指定される。

【0081】

EMMは、上記に概略されたようにオペレータによって伝送されたプログラムに関連した権利へのアクセスを制御するためにいろいろのオペレータによって生

成されてもよい。EMMは、一般に条件付アクセスシステムの態様を構成するように条件付アクセスシステムマネージャによっても生成されてもよい。

【0082】

(プログラム伝送)

マルチプレクサ4は、SAS21からの暗号化EMMと、第2の暗号化装置27からの暗号化ECMと、圧縮器3からの圧縮プログラムとを含む電気信号を受信する。マルチプレクサ4は、プログラムをスクランブルし、スクランブルプログラム、暗号化EMMおよび暗号化ECMをリンク装置7を介して放送センターの送信機6に送信する。送信機6は、アップリンク8を介して衛星トランスポンダ9の方へ電磁信号を送信する。

【0083】

(プログラム受信)

衛星トランスポンダ9は、送信機6によって送信される電磁信号を受信し、処理し、この信号を、従来はエンドユーザによって所有されるかあるいは賃貸されるディッシュアンテナの形の地上受信機11上にダウンリンク10を介して送信する。受信機11によって受信された信号は、エンドユーザによって所有されるかあるいは賃貸され、エンドユーザのテレビ受像機セット13に接続される統合受信機／デコーダ12に送信される。受信機／デコーダ12は、この信号を多重分離し、暗号化EMMおよび暗号化ECMを有するスクランブルプログラムを得る。

【0084】

プログラムがスクランブルされない場合、すなわち、ECMがMPEG-2ストリームとともに全然送信されない場合、受信機／デコーダ12は、データを伸長し、この信号をテレビ受像機セット13に送信するためのビデオ信号に変換する。

【0085】

プログラムがスクランブルされる場合、受信機／デコーダ12は、対応するECMをMPEG-2ストリームから抽出し、ECMをエンドユーザの「ドーター」スマートカード30に送る。これは、受信機／デコーダ12のハウジングにう

ましくはまる。ドータースマートカード30は、エンドユーザがECMを暗号解読し、プログラムをアクセスする権利を有するかどうかを制御する。有していない場合、否定状態が、プログラムをデスクランブルできないことを示すように受信機／デコーダ12に送られる。エンドユーザがこの権利を有する場合、ECMが、暗号解読され、制御ワードが抽出される。次に、デコーダ12は、この制御ワードを使用してプログラムをデスクランブルできる。MPEG-2ストリームは、伸長され、テレビ受像機セット13へ前方伝送するためのビデオ信号に変換される。

【0086】

(加入者管理システム (SMS))

加入者管理システム (SMS) 22は、特にエンドユーザファイル、コマーシャル提供、加入、PPV詳細、およびエンドユーザ消費額および許可に関するデータの全てを管理するデータベース32を含む。SMSは物理的にSASから離れてもよい。

【0087】

各SMS 22は、エンドユーザに送信される権利付与管理メッセージ (EMM) の修正あるいは作成を意味するメッセージをそれぞれのリンク装置23を介してSAS 21に送信する。

【0088】

SMS 22は、EMMの修正あるいは作成を意味しなくて、エンドユーザの状態の変化だけを意味するメッセージ (製品を注文する場合、エンドユーザに付与された許可あるいはエンドユーザが請求される金額に関する) をSAS 21にも送信する。

【0089】

SAS 21は、メッセージ (一般的には、コールバック情報あるいは課金情報のような情報を要求する) をSMS 22に送信するので、2つの間の通信は双方向であることが明らかである。

【0090】

(加入者許可システム (SAS))

SMS 22によって生成されたメッセージは、リンク装置23を介して加入者許可システム(SAS) 21に送られる。この加入者許可システム(SAS) 21は、同様にSMS 21によって生成されたメッセージの受信を肯定応答するメッセージを生成し、これらの肯定応答をSMS 22に送る。

【0091】

概要において、SASは、加入モードのための権利を与え、毎月この権利を自動的に更新する加入チェーン領域と、PPVイベントのための権利を与えるペイ・パー・ビューチェーン領域と、加入チェーン領域およびPPVチェーン領域によって作成されたEMMをマルチプレクサ・スクランブラ4に送り、この故にEMMを有するMP EGストリームを供給するEMMインジェクタとを含む。コンピュータソフトウェアをユーザのパーソナルコンピュータにダウンロードする場合のペイ・パー・ファイル(PPF)権利のような他の権利が与えられるべきである場合、他の同様な領域も提供される。

【0092】

SAS 21の1つの機能は、加入モードでコマーシャル提供として利用可能であるかあるいは異なる商品化モード(プレブックモード、インパルスモード)によるPPVイベントとして販売されるテレビジョンプログラムに対するアクセス権を管理することにある。これらの権利およびSMS 22から受信された情報によるSAS 21は加入者のためのEMMを生成する。

【0093】

EMMは、管理鍵および利用鍵に対して演算する演算装置(CU) 24に送られる。CUは、EMMのシグネチャを完了し、ヘッダが付加される、SAS 21のメッセージ生成器(MG)にEMMを送り返す。EMMは、完全EMMとしてメッセージ放出器(ME)に送られる。メッセージ生成器は、放送開始・終了時間およびEMMの放出速度を決定し、これらをEMMとともに適切な指令に応じてメッセージ放出器に送る。このMGは所与のEMMを一度生成するだけである。すなわち、EMMの周期的伝送を実行するのはMEである。

【0094】

EMMを生成する際に、MGは独自の識別子をEMMに割り当てる。MGがE

MMをMEに送る場合、EMM IDもまた送る。このことが、MGおよびMEの両方にて特定のEMMの識別を可能にする。

【0095】

複数の動作に関連した複数の条件付アクセスシステム等を扱うのに適しているシステムにおいて、各条件付アクセスシステムに関連したEMMストリームは、別々に生成され、伝送前にマルチプレクサ4によって一緒に多重化される。

【0096】

(放送システムの暗号化レベル)

次に図3を参照すると、標準放送システムの暗号化レベルの簡略大要が今説明される。デジタルデータの放送に関連した暗号化段が41に示され、伝送チャネル（例えば前述のような衛星リンク）が42に示され、受信機の暗号解読段が43に示される。

【0097】

デジタルデータNは、その後の伝送のためにマルチプレクサMpに伝送される前に制御ワードCWによってスクランブルされる。図3の下部から分かるように、伝送データは、とりわけ、利用鍵Kexによって制御される暗号器Ch1によって暗号化されるような制御ワードCWを含むECMを含んでいる。受信機／デコーダで、この信号は、見るためにテレビ13に送られる前にデマルチプレクサDMpおよびデスクランブラDによって送る。鍵Kexも持つ暗号解読装置DCh1は、多重分離信号のECMを暗号解読し、その後にこの信号をデスクランブルするために使用される制御ワードCWを得る。

【0098】

セキュリティ理由のために、暗号化ECMに埋め込まれた制御ワードCWは、平均で10秒等毎に変わる。ECMを復号化するために受信機によって使用される第1の暗号化鍵Kexは、毎月変更されるかあるいは演算子EMMによって変更される。暗号化鍵Kexは、個人の専用とされるグループ鍵K1（GN）を使用して第2の装置ChPによって暗号化される。加入者が更新鍵Kexを受信するように選択された加入者の中の1人である場合、デコーダセキュリティモジュールの暗号解読装置DChPは、そのグループ鍵K1（GN）を使用してこのメ

ッセージを暗号解読し、その月の鍵 K_{ex} を得る。

【0099】

暗号解読装置 DCh_p および DCh_1 ならびに関連鍵は、デコーダに関連したセキュリティモジュールに保有され、この場合、スマートカード 30 は、加入者に供給され、デコーダのスマートカードリーダーに挿入される。この鍵は、例えば、任意の通常使用される対称鍵アルゴリズムあるいはカスタマイズされた対称鍵アルゴリズムに従って生成されてもよい。

【0100】

前述されるように、異なる鍵は、異なるオペレータあるいは放送会社ならびに条件付アクセスシステムサプライヤーに関連してもよい。前記の説明では、グループ鍵 $K_1(GN)$ は、デコーダに関連し、EMMメッセージを暗号解読するために使用されるスマートカードによって保有される。実際は、異なるオペレータは、異なる加入者の独自の鍵 $K_1(Op_1, GN)$, $K_1(Op_2, GN)$ 等を有する。各グループ鍵は、オペレータによって生成され、加入者が属するグループに関連した値によって多様化される。

【0101】

スマートカードの異なるメモリゾーンは異なるオペレータのための鍵を保有する。各オペレータは、当該のスマートカードにだけ関連する独自の鍵およびこのオペレータによって提供されたサービスの全ての加入者のための視聴者鍵も有してもよい（上記を参照）。

【0102】

さらに、鍵のセットは条件付アクセスシステムのマネージャによっても保有されてもよい。特に、所与のスマートカードは、全てのスマートカードに共通のユーザ専用鍵 $K_0(NS)$ および視聴者鍵 $K_1(C)$ を含んでもよい。オペレータ鍵は通常放送権に関連したEMMメッセージを復号化するために使用されるが、条件付アクセスマネージャ鍵は、後述されるように、一般に条件付アクセスシステムの変更に関連したEMMメッセージを暗号解読するために使用されてもよい。

【0103】

図3に示されたシステムの上記の説明は、伝送が単一デコーダによってデスクランブルされ、単一テレビディスプレイに表示される放送システムのアクセス制御の実行に関する。図4を参照すると、次に第1および第2のデコーダ構成が説明される。

【0104】

(デコーダ構成)

前述のように、デコーダ12は、受信機11を介してスクランブル放送伝送を受信する。このデコーダは、便宜的にはスマートカードの形をとってもよいが、任意の他の適当なメモリあるいはマイクロプロセッサ携帯装置を含んでもよい携帯セキュリティモジュール30を含む。このデコーダ12は、例えば、条件付アクセス情報を処理するサーバと通信するモデムチャネル16に接続され、例えば、ペリテルリンク53を介してデスクランブルオーディオビジュアルディスプレイ情報をテレビ13に送るようにも構成される。

【0105】

このシステムは、例えばIEEE1394バス51を介してデコーダ12と通信するように構成される従属あるいはスレーブデコーダ50をさらに含む。このデコーダ50は、スクランブル放送伝送を直接受信するために受信機11あるいは他の衛星受信機に対する結線（図示せず）を含んでもよい。それとは別に、この情報は、結線51を介して第1のデコーダ12から送られてもよい。

【0106】

第2のデコーダ50は、さらに携帯セキュリティモジュール52で作動するように構成される。携帯セキュリティモジュール52は、便宜的にはスマートカードとして実現されてもよい。しかしながら、PCMCIAカード、マイクロプロセッサ鍵等のような従来公知であるような任意の携帯メモリおよび／またはマイクロプロセッサ装置が使用されてもよい。伝送をデスクランブルする際のこのモジュール52の動作が後述される。

【0107】

このデコーダ50は、デスクランブル伝送を表示するために使用されるテレビディスプレイ55のリンク54も含んでいる。デコーダ12、50およびディス

プレイ13、55の要素は別々に示されているが、これらの要素のいくつかあるいは全ては例えば、組合せデコーダ／テレビセットを提供するように合体されてもよいことを思い描いている。

【0108】

(デコーダ間の安全な通信)

序論で述べられているように、加入データの管理に関する問題を避けるために、単一加入だけが2つのデコーダ12、50の所有者のために開かれていることが望ましい。デコーダ12はシステムの主デコーダあるいは第1のデコーダである場合、スマートカード30は、図3に関して前述されたような毎月の利用鍵K_{ex}を受信するように個人の専用とされる。デコーダ50が伝送をデスクランブルし、ディスプレイ55を介して表示できるために、このデスクランブルが実行できるように所定の情報をセキュリティモジュール30からセキュリティモジュール52に通信することが必要である。

【0109】

本実施形態では、スマートカード30は、制御ワードCW値を得るために伝送に関連したECMメッセージを暗号解読する。次に、この制御ワード値が、伝送をデスクランブルし、ディスプレイ55を介してプログラムを表示するためにデコーダ50およびスマートカード52によって使用される場合、暗号化形式でリンク51を介してデコーダ50およびスマートカード52に通信される。

【0110】

それにもかかわらず、例えば、毎月の利用鍵K_{ex}のコピーはデコーダおよびスマートカード50、52に送られ、デコーダ50がその後に独立して作動できる、この制御ワード実施形態以外の実施形態を思い描いてもよい。

【0111】

理解されているように、いかなる詐欺の問題も回避するために、制御ワード情報あるいは実際に伝送を暗号解読し、デスクランブルする際に使用される少しの他の情報も決して暗号化されていない形式でリンク51を介して伝送されないことがきわめて重要である。

【0112】

次に、このような通信リンクが実現できる方法が図5および図6を参照して説明される。

【0113】

明瞭にするために、公開／私用鍵アルゴリズムを使用する全ての暗号化動作は記号 f_a によって示されるのに対して、対称アルゴリズムを使用する全ての動作は記号 f_s によって示される。暗号解読動作は「 f_a あるいは f_s 」として示される。

【0114】

私用／公開鍵対は、RSAあるいはディフィー・ヘルマンのような任意の適当な非対称暗号化アルゴリズムに従って生成されてもよい。対称鍵はDESのようなアルゴリズムと併用されてもよい。いくつかの場合、カスタム対称アルゴリズムも使用されてもよい。

【0115】

図5を参照すると、デコーダ50のためのスマートカード52は、65に示され、61に示された私用管理鍵 K_{priMan} に関連した公開鍵と同等の公開鍵 K_{pubMan} で個人の専用とされる。実際には、従属あるいはスレーブデコーダと併用されることを意図される全てのスマートカード52は、鍵 K_{pubMan} を含む。

【0116】

この個人専用化ステップは、カードの最初の個人専用化の瞬間（第2のデコーダを提供することを既に思い描いている場合）あるいはユーザが加入の際に第2のデコーダを含めることを要求する場合のいずれかでシステムマネージャの本部で通常内密に実行される。

【0117】

その後、61に示された秘密私用鍵 K_{priMan} を持つシステムマネージャは、専用 EMM メッセージ 62 で 63 に示された証明証 C_t (K_{pubT}) を通信する。証明証は、公開鍵 K_{pubT} を私用マネージャ鍵 K_{priMan} で暗号化することによって作成される。EMM は、64 に示され、スマートカード 30 の不揮発性メモリに証明証 C_t (K_{pubT}) とともに記憶された私用鍵 K_{pri}

i Tをさらに含む。

【0118】

デコーダ12およびカード30のみこのEMMメッセージを暗号解読してもよいので、EMMそのものは、適切な伝送あるいは利用鍵を使用して1つのデコーダの専用のEMMのために通常の方法で暗号化される。

【0119】

2つのデコーダがIEEE1394リンク51を介して通信状態にする瞬間に、スマートカード30は、66に示されるように証明証Ct (KpubT) をスマートカード52に送信する。公開鍵KpubManを使用すると、カードは、68で示されるような公開鍵KpubTを得るために67の証明証を暗号解読する。この公開鍵KpubTは、その後、デコーダ対12、50およびカード対30、52に特に関連している。

【0120】

このカード52は、その後、69に示されるランダム鍵値Ksを生成する。記載されているように、このランダム鍵は、後で、カード30、52間で両方向に通信されるメッセージを暗号化するために対称アルゴリズムでセッション鍵として使用される。新しいセッション鍵値は、システムのデコーダ50およびカード52のその後の再接続毎に生成されてもよい。すなわち、毎回デコーダ50は、ユーザによって、あるいは例えばペイ・パー・ビューフィルムの視聴セッション毎にオンにスイッチされる。

【0121】

対称鍵Ksは、71でスマートカード30に送信された公開鍵KpubTおよび暗号化値を使用して70で暗号化される。このカード30は、73で私用鍵KpriTによってメッセージを暗号解読し、72でセッション鍵値を記憶する。理解されるように、私用／公開暗号化アルゴリズムの特性のために、暗号化メッセージは、私用鍵KpriTを持つカード、すなわちカード30によってのみ暗号解読されてもよい。

【0122】

前述のように、カード30、52は、値KpriT、Ct (KpubT) およ

びK p u b M a nをそれぞれのカード30、50に埋め込むかあるいは通信する同じシステムマネージャによってプログラム化される。他の具現（図示せず）では、第2の許可層はシステム私用鍵K p r i S y s t e mを使用して提供されてもよい。この具現では、K p r i S y s t e mによって暗号化された鍵K p u b M a nを含む証明証C t (K p u b M a n)はカード30に記憶される。

【0123】

このような具現では、カード52はさらに二次システム公開鍵K p r i S y s t e mを持つ。動作の際に、カード30は、証明証C t (K p u b M a n)の暗号化値をK p r i S y s t e mを使用してこのメッセージを暗号解読し、K p u b M a nを得るカード52に送信する。それ以来、このステップは前述と同じであり、カード52はK p u b T等を得るために鍵K p u b M a nを使用する。

【0124】

次に、図6を参照すると、カード30からカード52への制御ワード情報の安全な通信に必要されるステップが今説明される。

【0125】

通常の動作の際、スレーブデコーダ50およびカード52は、伝送をデスクランブルするのに必要な制御ワード情報を含む暗号化E C Mメッセージとともにスクランブル伝送を受信する。これらのE C Mメッセージは、75でI E E E 1 3 9 4を介してマスタデコーダおよびカード12、30に送られる。それとは別に、スレーブデコーダを介して表示される伝送のためのE C Mメッセージは、マスタデコーダおよびカード12、30によって直接受信されてもよい。

【0126】

次に、カード30は、標準検証ステップを76で実行し、デコーダの1つあるいは両方がこの伝送をアクセスする権利を有することをチェックする。デコーダが必要な権利を有しない場合、「無効」メッセージ77はデコーダおよびカード50、52に戻され、この処理は停止する。

【0127】

加入者が必要な権利を持っていると仮定すると、79に示され、暗号化制御ワードC Wを含むE C Mメッセージは、そのとき、システムマネージャあるいはオ

ペレータに関連した81に示された毎月の利用鍵 K_{ex} を使用して80で暗号解読される。

【0128】

81に示された制御ワードの暗号化されていない値は、そのとき、83に示された予め得られたセッション鍵 K_s を使用して82で再暗号化される。理解されるように、制御ワードの再暗号化のための82で使用された暗号化アルゴリズムは、80で使用された暗号化アルゴリズムに相当し、実際に、セキュリティ理由のために、異なるアルゴリズムが使用されてもよい。便宜的には、システムマネージャ所有のカスタムアルゴリズムは、80に示された暗号解読ステップおよび80に示されたセッションメッセージの暗号化のために使用されたDESのような一般的なアルゴリズムを含む利用鍵 K_{ex} に関するステップのために使用されてもよい。

【0129】

いくつかの場合、著作権告示情報のような付加情報は、制御ワードCWおよびこの付加情報が K_s によって暗号化され、第2のデコーダおよびカードに送信されるようにステップ81および82間に導入されてもよい。このような情報の存在は、第2のデコーダがデータを記録するかあるいはこの情報をレコーダに送ることができる場合により重要である。著作権告示は、第2のデコーダがデータを記録するかあるいは例えば無限回数データを記録および再生することを防止するためにフラグとして使用されてもよい。

【0130】

暗号化制御ワードは、83に示されるようにデコーダ50およびカード52に戻される。84に示された等しいセッション鍵 K_s を使用すると、このカードは、85でメッセージを暗号解読し、86に示された暗号化されていない制御ワードを得る。その後、この制御ワード値は、関連テレビディスプレイ55にその後表示するために伝送の関連部をデスクランブルするためにデコーダおよびカード50、52によって使用される。

【0131】

いくつかの場合、デコーダ50およびカード52がVCRのような他のオーデ

ィオビジュアル装置に情報を送ることを望んでもよいことを思い描いてもよい。
このような例では、デコーダ50およびカード52には、「マスタ」装置の役割を引き受けるのに必要な私用鍵が供給されてもよく、同じ動作が、必要に応じて変更を加えて安全なリンクを生じさせるようにデコーダと他の装置との間で実行されてもよい。

【0132】

上記の説明は一对のデコーダに関する情報の確認および通信に焦点を合わせているが、本発明は、同様に一連の相互接続デコーダ、例えば、各々が等しい公開鍵 $K_{pub}T$ を持つ複数の従属デコーダからのメッセージの暗号解読のための複数の私用トランスポート鍵 $K_{pri}T$ を持つ単一マスタデコーダを保護するように拡張されてもよい。

【0133】

さらに、デコーダからレコーダへ通信されるデータは前述の例では制御ワードを含むが、伝送をデスクランブルすることに直接関連しない情報さえ含む他の情報はこのリンクを介して送られてもよい。

【0134】

同様に、上記に述べられたのと同じ原理は、デジタルVCR、デジタルテレビあるいはこのような装置の任意の組合せのようなネットワークに接続された他のデジタルオーディオビジュアル装置間の通信に適用されてもよい。例えば、図7を参照すると、スクランブル伝送の記録および再生のためのアクセス制御システムの要素が、次に説明される。

【0135】

(デコーダおよびレコーダ構成)

前述のように、デコーダ12は、受信機11を介してスクランブル放送伝送を受信する。このデコーダは、便宜的にはスマートカードの形をとるが、任意の他の適当なメモリあるいはマイクロプロセッサ装置を含んでもよい携帯セキュリティモジュール30を含む。デコーダ12は、例えば、条件付アクセス情報を処理するサーバと通信するモデムチャネル16を含み、デスクランブルオーディオビジュアルディスプレイ情報を、例えばペリテルリンク53を介してテレビ13に

も送るように構成されている。このシステムはさらに、例えばIEEE1394バス101を介してデコーダと通信するように構成されるDVHSあるいはDVDレコーダのようなデジタルレコーダ100を含む。レコーダ100は、情報が記録されるデジタル記録支持体（図示せず）を収容する。

【0136】

レコーダ100はさらに、とりわけ、記録の再生へのアクセスを制御するために使用される鍵を含む携帯セキュリティモジュール102で作動するように構成されている。携帯セキュリティモジュールは、従来公知であるような例えばスマートカード、PCMCIAカード、マイクロプロセッサ鍵等の任意の携帯メモリおよび／またはマイクロプロセッサ装置を含んでもよい。この場合、携帯セキュリティモジュール102は、携帯電話の分野で公知であるようなSIMカードとして示されている。

【0137】

デジタルレコーダ100は、ディスプレイ13への直接リンク104を含む。他の具現では、デジタルオーディオビジュアル情報は、表示前レコーダ100からデコーダ12へ送られてもよい。同様に、デコーダ12、レコーダ100およびディスプレイ13の要素は別々に示されているが、これらの要素のいくつかあるいは全ては、例えば、組合せデコーダ／テレビセットあるいは組合せデコーダ／レコーダ等を提供するように合体されてもよいことが考えられる。

【0138】

同様に、本発明はオーディオビジュアル放送情報の記録に関して検討されているが、本発明も、便宜的には、例えば、DATあるいはミニディスクレコーダにその後記録された放送排他オーディオ情報あるいはコンピュータのハードディスクに記録された放送ソフトウェアアプリケーションにさえ適用されてもよい。

【0139】

（デコーダとレコーダとの間の安全な通信）

序論に述べられているように、記録鍵でのスクランブル伝送と関連する制御ワードを再暗号化し、スクランブル伝送とともに再暗号化制御ワードを記録支持体に記憶することは従来提案されたシステムから公知である。最初の伝送の暗号

化および暗号解読に関連した利用鍵と違って、記録鍵は、記録が将来いつでも再生できるようにこの特定の記録に関連した変更しない鍵であってもよい。

【0140】

図7の概要から分かるように、デコーダ要素からのシステムの記録要素の独立を可能にするために、記録鍵が、例えば、携帯セキュリティモジュールSIMカード102のようなレコーダに関連したセキュリティモジュールに鍵を記憶することによってレコーダ100と関連すべきであることが必要である。特に、鍵がデコーダ12あるいはスマートカード30に永久に記憶される場合、レコーダは、デコーダがない場合、記録を再生できない。

【0141】

これを行うために、リンク101に沿ってデコーダ12とレコーダ100との間に所定の情報を送る必要がある。この情報は、例えば、次にデジタルレコーダで記録鍵の使用によって再暗号化されてもよい制御ワード情報を暗号解読されてもよい。それとは別に、制御ワード情報はデコーダによって生成された記録鍵によって暗号化されてもよく、この記録鍵はそのとき記憶するためのレコーダに送信される。

【0142】

全ての場合、デコーダとレコーダとの間で安全化リンクを確実することは必要である。あいにく、デコーダの働きをする放送システムマネージャとレコーダの働きをするレコーダ装置のメーカーとの間の活動の独立は、この目的のための暗号化鍵の提供に関する多数の問題をもたらす。

【0143】

例えば、放送オペレータは、メーカーに例えば、レコーダセキュリティモジュール102によって必要とされる秘密対称アルゴリズム鍵を預け、デコーダセキュリティモジュール30によって保有される等しい鍵を使用して暗号化された通信を暗号解読するようにレコーダの製造場所でセキュリティの保全性を十分な確信しなくてもよい。

【0144】

さらに、活動の分離によって、レコーダセキュリティモジュール102が適切

な鍵に関して個人の専用とするために放送システムマネージャに送信される状況を思い描くことは実用的でないこともある。この理由のために、デコーダおよびレコーダのための動作の最大独立を可能にする解決策を思い描くことが必要である。

【0145】

図8は、これらの問題を解決する、デコーダとレコーダセキュリティモジュール30、102との間で安全な通信リンクを生じさせる方法を概略形式出示している。

【0146】

明瞭にするために、公開／私用鍵アルゴリズムを使用する全ての暗号化／暗号解読動作は六角形の記号faによって示されるのに対して、対称アルゴリズムを使用する全ての動作は卵形の記号fsによって示される。

【0147】

図5に示されるように、レコーダカード102は、放送システムマネージャによってレコーダメーカーに通信される120に示されるシステム証明証CtKeyRecを使用してレコーダメーカーによって作成される。121に示されるように、この証明証は、放送システム私用鍵KpriSystemによって暗号化されたメーカー公開鍵KpubManに対応する。私用鍵KpriSystemは、システムマネージャに固有であり、システムマネージャによって排他的に保有され、たとえ値KpubManが既知であるとしても、この鍵値を証明証CtKeyRecから得ることができない。

【0148】

下記からより明らかになるように、メーカー鍵KpubManを含むシステム証明証CtKeyRecは、メーカーの鍵システムのセキュリティの保全性、特に鍵KpubManの正当性の放送オペレータによる保証に役立つ。この証明証は1回だけ生成される。この証明動作において、メーカーは、鍵KpubManを私用鍵KpriSystemを使用して鍵KpubManを暗号化し、システム証明証CtKeyRecを返す放送システムマネージャに通信する。その後、メーカーは、レコーダセキュリティモジュールの個人専用化ステップ中、証明証

C t K e y R e c を含むように全レコードセキュリティモジュールを構成する。

【0149】

鍵 K p u b M a n そのものは、レコードメーカーあるいはレコードの供給者の I D に関連し、レコードメーカーあるいはレコードの供給者に固有の私用／公開鍵対の公開鍵に対応する。対応する私用鍵 K p r i M a n は、排他的にはレコードメーカーによって保有され、放送システムマネージャにさえ知られていない。鍵 K p r i M a n は、それ自体 1 2 2 に示された装置証明証 C t K e y S I M を生成するために使用される。レコードセキュリティモジュールに固有であるこの証明証は、私用メーカー鍵 K p r i M a n によって暗号化されるレコードセキュリティモジュール鍵 K p u b S I M に対応する。

【0150】

鍵 K p u b S I M は、同様にレコード装置の I D に関連し、このレコード装置に固有の私用／公開鍵対の公開鍵に対応する。この鍵および対応する私用鍵 K p r i S I M はレコードメーカーによって生成される。図示されるように、私用鍵 K p r i S I M は、1 2 4 で、好ましくはチップそのものの製造の瞬間にレコードセキュリティモジュールに記憶される。

【0151】

暗号化通信が、デコーダと、例えば、デコーダによって受信された伝送の記録に関連したレコードとの間で生じさせられるべきである場合、システム証明証 C t K e y R e c は、1 2 6 に示されるようにレコードセキュリティモジュール 1 0 2 からデコーダセキュリティモジュール 3 0 に伝送される。

【0152】

デコーダセキュリティモジュール 3 0 は、1 2 5 に示され、放送システムマネージャによる個人専用化中にカード 3 0 に記憶される放送システム公開鍵 K p u b S y s t e m を含む。システム鍵 K p u b S y s t e m を使用して、デコーダセキュリティモジュールは、メーカー公開鍵 K p u b M a n を得るために 1 2 7 で証明証 C t K e y R e c を暗号解読する。

【0153】

レコード供給者に関連したセキュリティ侵害の場合、セキュリティモジュール

30は、暗号解読ステップ127後に得られた若干のメーカー公開鍵値を拒絶するようにプログラム化できる。特に、鍵 K_{pubMan} は、128に記憶され、次の暗号解読ステップで利用される。

【0154】

129に示されるように、レコーダセキュリティモジュール102は、そのとき、このレコーダセキュリティモジュールに固有な装置証明証 $CtKeySIM$ をデコーダセキュリティモジュール30に通信する。メーカー公開鍵 K_{pubMan} を使用して、デコーダセキュリティモジュール30は、レコーダセキュリティモジュール公開鍵 K_{pubSIM} を130で暗号解読する。

【0155】

この公開鍵は、131でデコーダセキュリティモジュール30に記憶され、次にセッション鍵値の暗号化および通信で利用される。この例では対称暗号化／暗号解読アルゴリズムによって利用可能な乱数値に対応するこのセッション鍵値は、132で生成され、レコーダセキュリティモジュール公開鍵 K_{pubSIM} によって133で暗号化され、次に134でレコーダセキュリティモジュールに通信される。

【0156】

理解されるように、公開／私用鍵アルゴリズムの特性のために、この暗号化メッセージは、レコーダセキュリティモジュールに124で記憶される独自の私用鍵 K_{priSIM} を使用して暗号解読されるだけでよい。135でのメッセージの暗号解読は136でのセッション鍵の抽出をもたらす。

【0157】

その後、各セキュリティモジュール30、102は、両方向メッセージの暗号化および暗号解読で利用するために137、138で対称セッション鍵のコピーを持つ。前述のように、セッション鍵は対称アルゴリズムと組合せて利用され、等しいセキュリティはいずれかの方向のメッセージのために提供される。両方向通信を必要としなくて非対称アルゴリズムを利用する他の実施形態を思い描いてもよい。

【0158】

図8に示されるように、セッション鍵は、本実施形態では、制御ワード情報をデコーダからレコーダへ通信するために使用される。特に、スクランブル伝送に関連したECMメッセージ139は、その中に含まれた任意の他の情報とともに制御ワード140の暗号化されていない値を得るためにデコーダセキュリティモジュールによって受信され、暗号解読される。次に、この制御ワードは、137で記憶されたセッション鍵を使用して141で再暗号化され、得られる暗号化メッセージは、142でレコーダセキュリティモジュール102に通信される。

【0159】

138で記憶されたセッション鍵を使用して、レコーダセキュリティモジュールは、143でメッセージを暗号解読し、144で制御ワードの暗号化されていない値を得る。次に、制御ワードは、レコーダセキュリティモジュールによって内部で生成され、146で記憶される記録鍵を使用して145で再暗号化される。この再暗号化制御ワードおよび任意の他の情報を含む新しいECMは、次に最初にスクランブル伝送とともに記録支持体147に記録される。記録の再生の際に、レコーダセキュリティモジュール102は、表示前にスクランブル伝送を暗号解読する際に使用される制御ワード値を得るようにECMを暗号解読するために146で記憶された記録鍵値を使用する。

【0160】

保護コピーを提供するために、記録鍵はセッション鍵を使用してデコーダに通信されてもよい。その後、この記録は、レコーダセキュリティモジュールの損傷あるいは損失の場合にバックアップとしてデコーダセキュリティモジュールに記憶される。

【0161】

私用／公開鍵対 K_{priSIM} 、 K_{pubSIM} 、 K_{priMan} 、 K_{pubMan} 、 $K_{priSystem}$ および $K_{pubSystem}$ は、RSAあるいはディフィ－ヘルマンのような任意の適当な非対称暗号化アルゴリズムに従って生成されてもよい。同様に、セッション鍵および記録鍵は、DESのような任意の適当な対称暗号化／暗号解読アルゴリズムとともに使用可能な鍵値に一致してもよい。

【0162】

理解されるように、上記の実施形態の代替の具現は可能である。この場合、例えば、同じシステムマネージャがデコーダセキュリティモジュールおよびレコーダセキュリティモジュールの両方を管理することを個人の専用とする責任を負っている場合、システム証明証C t K e y R e cを使用する認証の最初のステップは、K p u b M a nの値が128でデコーダモジュールに直接挿入されるので省略されてもよい。

【0163】

さらに、伝送送波および記録送波のセキュリティの保全性を保証する責任はレコーダのメーカーにある場合、デコーダセキュリティモジュールおよびレコーダセキュリティモジュールの役割のいくつかあるいは全ては、レコーダメーカーが放送システムオペレータによって提供される公開鍵を認証し、レコーダが通信の開始、セッション鍵の生成等の責任を負っているので、完全に逆にされてもよい。

【0164】

セッション鍵の生成のレベル以下で、記録で使用するための情報の通信に対する任意の数の可能性を思い描いてもよいことも分かる。例えば、デコーダからレコーダへ通信されるデータは前述された例では制御ワードを含むが、レコーダカードに通信する前にオーディオビジュアルデータそのものを暗号解読し、再暗号化することを思い描いてもよい。それとは別に、あるいはさらに、記録鍵は、デコーダセキュリティモジュールで生成され、レコーダセキュリティモジュールに通信されてもよい。

【0165】

さらに、前述の説明はレコーダあるいはデコーダの単一供給者に関する情報の確認および通信に焦点を合わせているが、本発明は同様に複数のデコーダ供給者および／またはレコーダ供給者を保護するように拡張してもよい。例えば、レコーダセキュリティモジュールは、複数の放送システムマネージャに関連した複数のシステム証明証C t K e y R e cを含んでもよい。同様に、デコーダセキュリティモジュールは、第1の検証ステップが実行された後に得られる複数のレコー

ダメーカー管理鍵 K_{pubMan} を処理するように構成されてもよい。

【0166】

変化するセッション鍵の使用はセキュリティのレベルを増加させるが、一定セッション鍵が使用されるかあるいは公開／私用鍵 K_{pubSIM}/K_{priSIM} が一方の装置から他方の装置へ通信される情報を直接暗号化するために使用される場合、他の具現を思い描くことができる。セッション鍵そのものは私用／公開鍵対を含んでもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この実施形態によるデジタルTVシステムの全アーキテクチャを示している。

【図2】

図1の条件付アクセスシステムのアーキテクチャを示している。

【図3】

条件付アクセスシステムの暗号化レベルを示している。

【図4】

第1および第2のデコーダのレイアウトを示している。

【図5】

第1および第2のデコーダ間に安全な通信リンクを生じさせることに関連したステップを示している。

【図6】

安全な通信リンクを介して制御ワード情報を転送する際の第1および第2のデコーダの動作を示している。

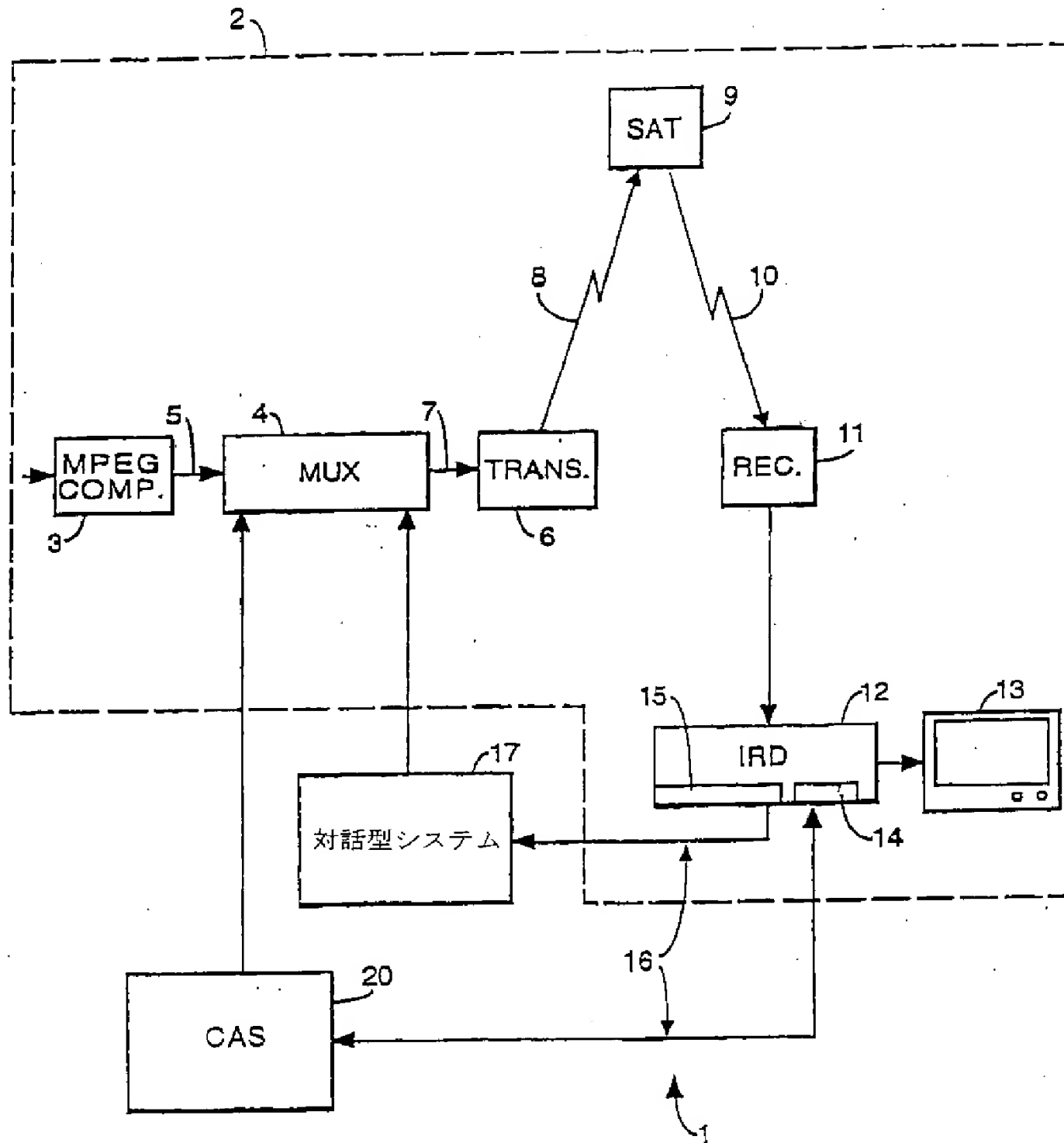
【図7】

デコーダおよびデジタル記録装置のレイアウトを示している。

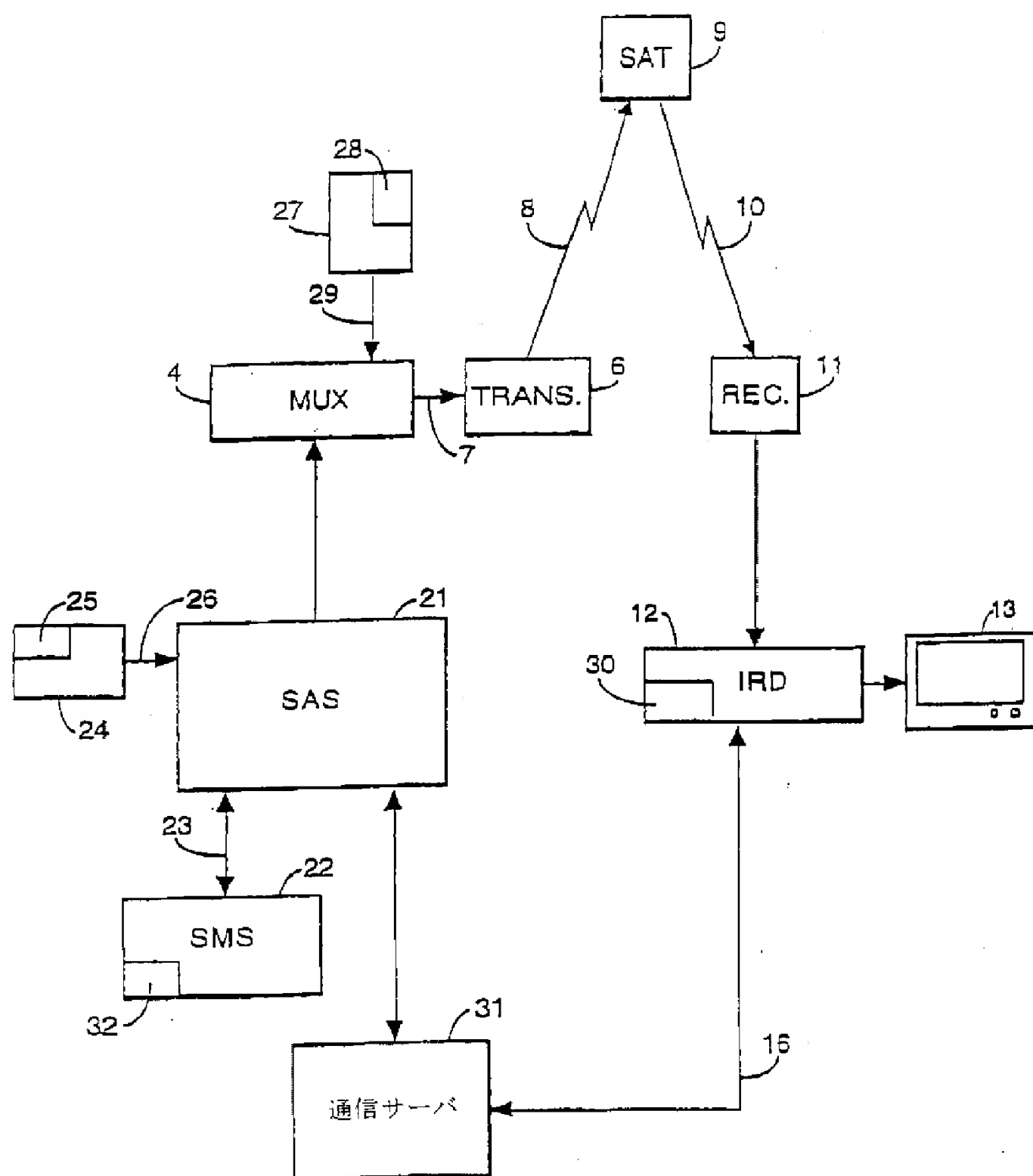
【図8】

デコーダおよびレコーダセキュリティモジュールの個人の専用とすることに関連したステップおよび装置間に安全な通信リンクを生じさせるように実行されるその後の動作に関連したステップを示している。

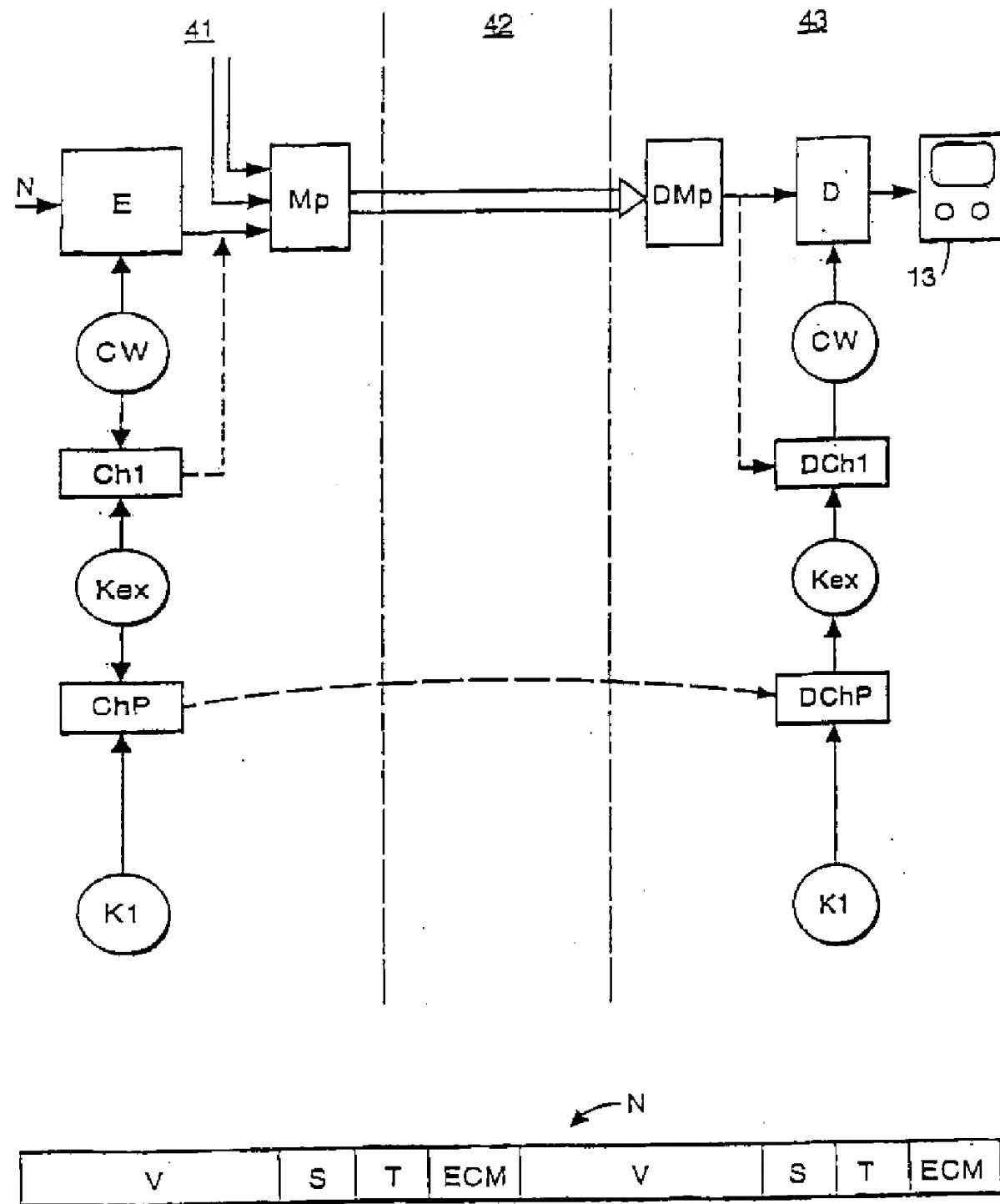
【図1】



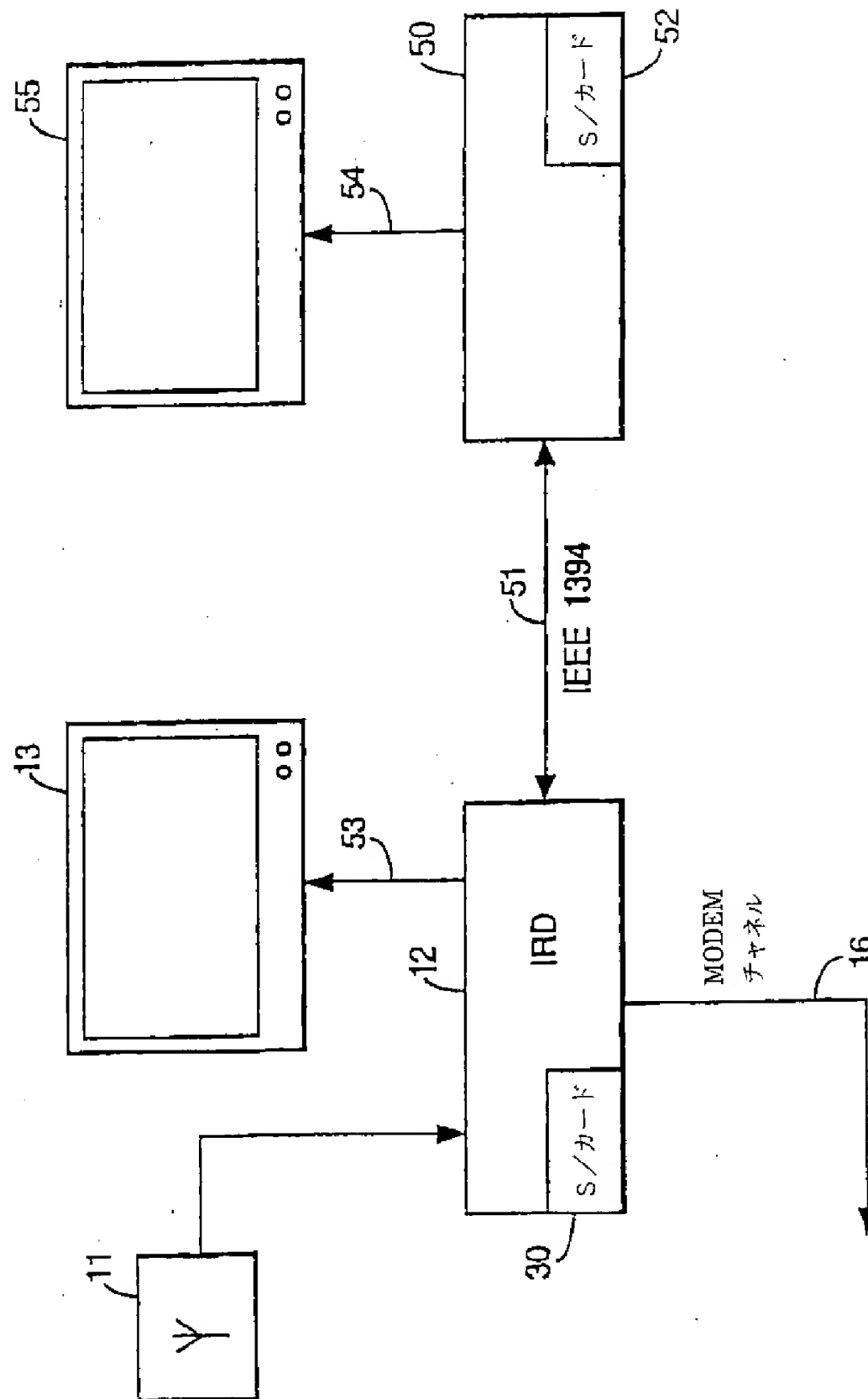
【图 2】



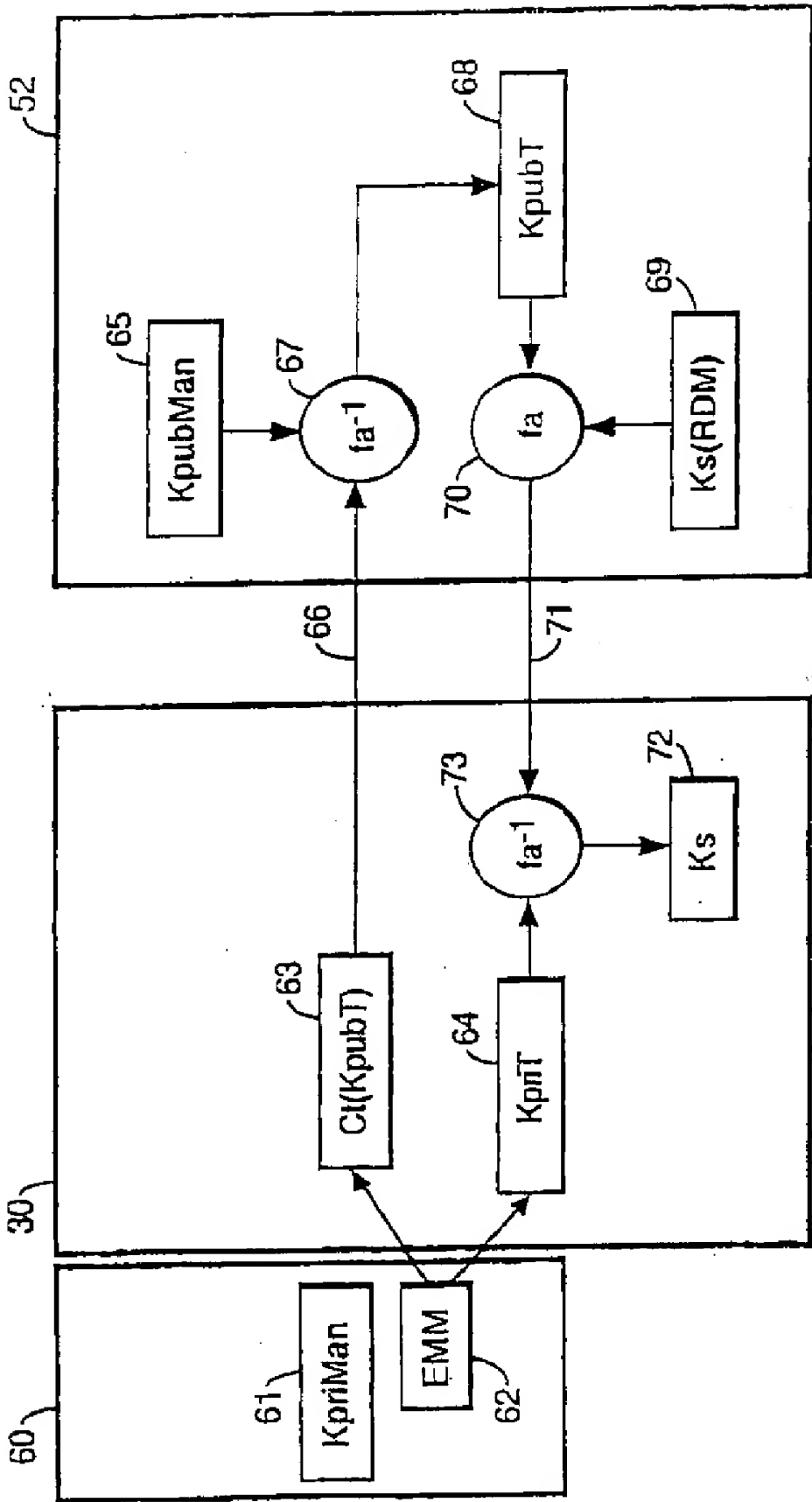
【図3】



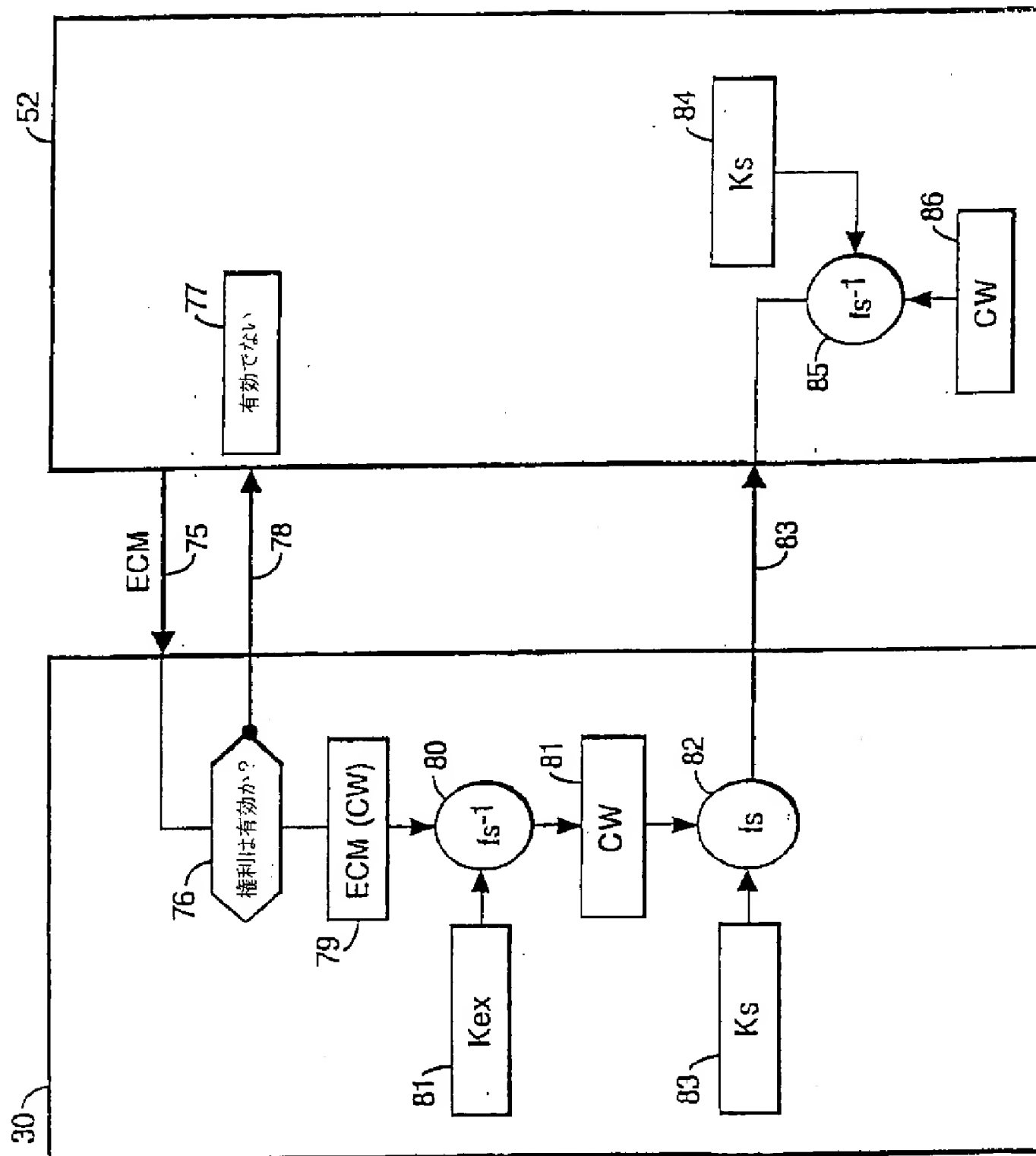
【図4】



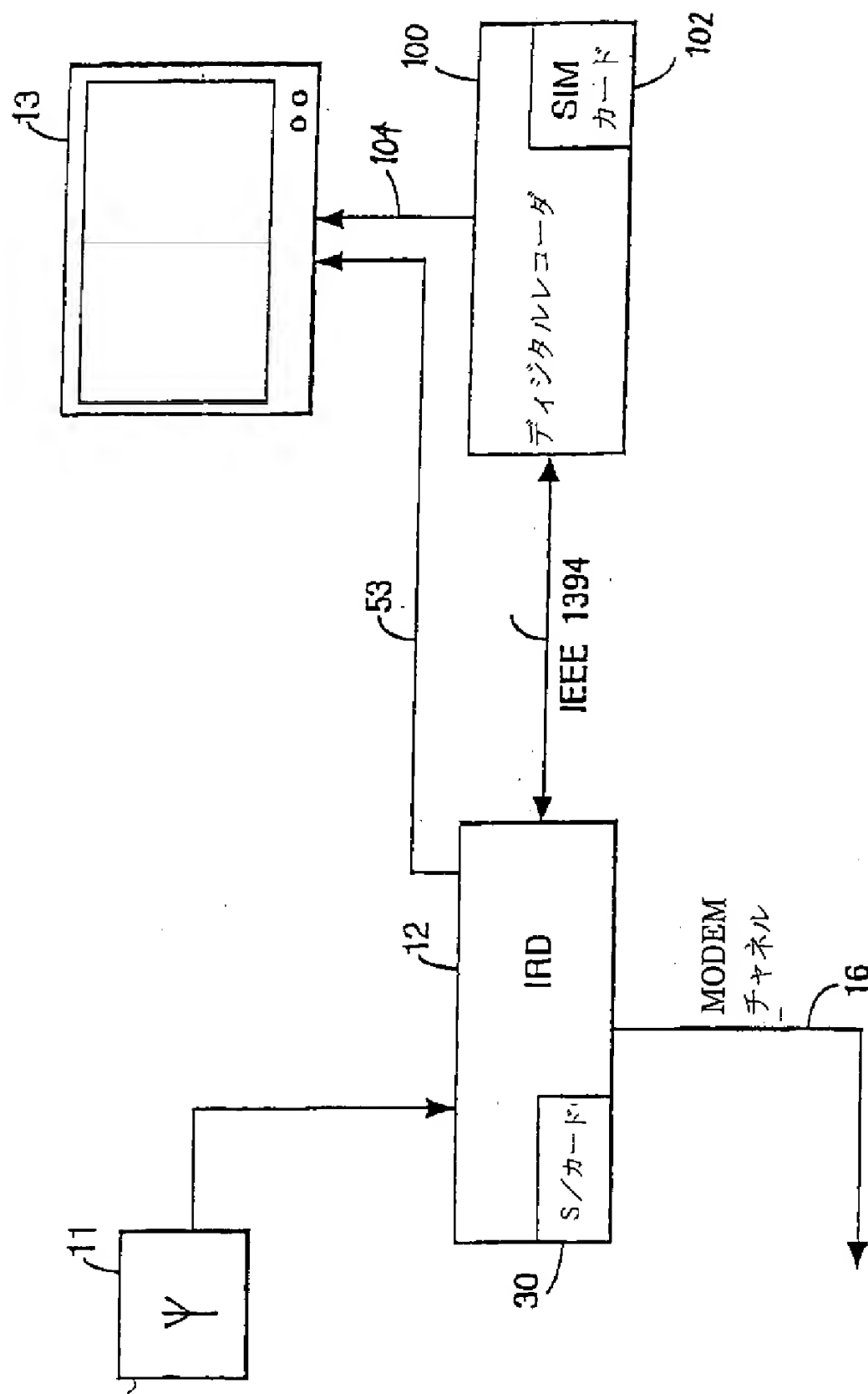
【図5】



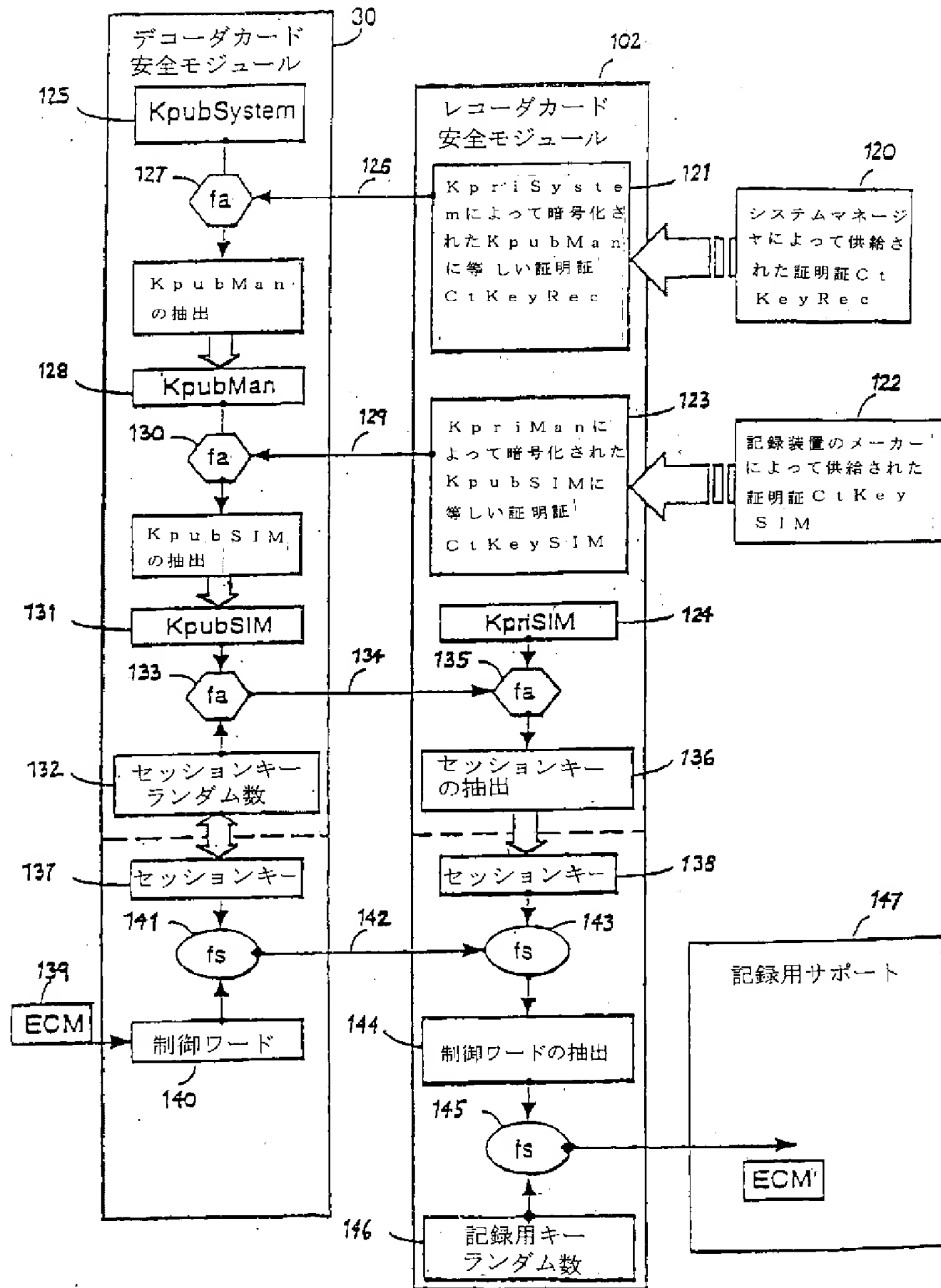
【図6】



【図7】



【図8】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No. PCT/IB 99/01323		
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 7 H04N7/167 H04L29/06		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 H04N H04L G06F		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 97 38530 A (DIGCO B V ; RIX SIMON PAUL ASHLEY (ZA); GLASSPOOL ANDREW (GB); DAVI 16 October 1997 (1997-10-16)	1,3,5,6, 12,13, 26,27 10,11, 24,25
Y	page 1, line 19 - line 26 page 4, line 1 - page 5, line 10	
Y	US 5 748 732 A (LE BERRE JACQUES ET AL) 5 May 1998 (1998-05-05)	10,11
A	column 1, line 17 - column 2, line 16 column 3, line 23 - line 35 column 3, line 64 - column 4, line 43 -/-	9
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of box C. <input checked="" type="checkbox"/> Patent family members are listed in annex.		
* Special categories of cited documents : "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another claim or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "8" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 29 October 1999		Date of mailing of the international search report 05/11/1999
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.O. 5818 Patentlaan 2 NL - 2260 HW Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 851 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Sindic, G

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.

PCT/IB 99/01323

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 97 35430 A (NEWS DATACOM LTD ;TSURIA YOSSEF (IL)) 25 September 1997 (1997-09-25)	10,11
A	page 3, line 1 -page 4, line 16	9
Y	"ENCRYPTION OF INFORMATION TO BE RECORDED SO AS TO PREVENT UNAUTHORIZED PLAYBACK" RESEARCH DISCLOSURE, no. 335, 1 March 1992 (1992-03-01), page 219 XP000301128 ISSN: 0374-4353 the whole document	24,25
A	FORD W ET AL: "PUBLIC-KEY CRYPTOGRAPHY AND OPEN SYSTEMS INTERCONNECTION" IEEE COMMUNICATIONS MAGAZINE, vol. 30, no. 7, 1 July 1992 (1992-07-01), pages 30-35, XP000307910 page 2, paragraph 5	1,13,27
A	FR 2 732 537 A (CANAL PLUS SA) 4 October 1996 (1996-10-04) page 2, line 12 -page 3, line 23	13,18
A	US 4 633 309 A (LI TONY C ET AL) 30 December 1986 (1986-12-30) column 2, line 36 - line 68	9

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No.
PCT/IB 99/01323

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 9738530 A	16-10-1997	AU 2506397 A CA 2250833 A CN 1215528 A EP 0891670 A HR 970160 A	29-10-1997 16-10-1997 28-04-1999 20-01-1999 28-02-1998
US 5748732 A	05-05-1998	FR 2730372 A EP 0726676 A JP 8251569 A	09-08-1996 14-08-1996 27-09-1996
WO 9735430 A	25-09-1997	IL 117547 A AU 1317597 A EP 0826288 A GB 2311451 A,B	14-07-1999 10-10-1997 04-03-1998 24-09-1997
FR 2732537 A	04-10-1996	NONE	
US 4633309 A	30-12-1986	CA 1250656 A	28-02-1989

フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
		H 0 4 L 9/00	6 0 1 F
(81)指定国	EP(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AP(GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, UG, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW		
Fターム(参考)	5C064 DA01 DA12 5J104 AA16 EA06 EA19 NA02 NA03 NA35 NA37		



INTERNATIONAL APPLICATION PUBLISHED UNDER THE PATENT COOPERATION TREATY (PCT)

(51) International Patent Classification ⁷ :

H04N 7/167, H04L 29/06

A1

(11) International Publication Number:

WO 00/04718

(43) International Publication Date:

27 January 2000 (27.01.00)

(21) International Application Number: PCT/IB99/01323

(22) International Filing Date: 14 July 1999 (14.07.99)

(30) Priority Data:

98401778.0 15 July 1998 (15.07.98) EP

98401870.5 22 July 1998 (22.07.98) EP

(71) Applicant (for all designated States except US): CANAL+ SOCIETE ANONYME [FR/FR]; 85/89, quai André Citroën, F-75711 Paris Cedex 15 (FR).

(72) Inventors; and

(75) Inventors/Applicants (for US only): DAUVOIS, Jean-Luc [FR/FR]; 19, rue Eugène Manuel, F-75116 Paris (FR). BENARDEAU, Christian [FR/FR]; 13, allée des Puisatiers, F-77600 Bussy Saint Georges (FR).

(74) Agents: COZENS, Paul, Dennis et al.; Mathys & Squire, 100 Gray's Inn Road, London WC1X 8AL (GB).

(81) Designated States: AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, ARIPO patent (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, UG, ZW), Eurasian patent (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), European patent (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI patent (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

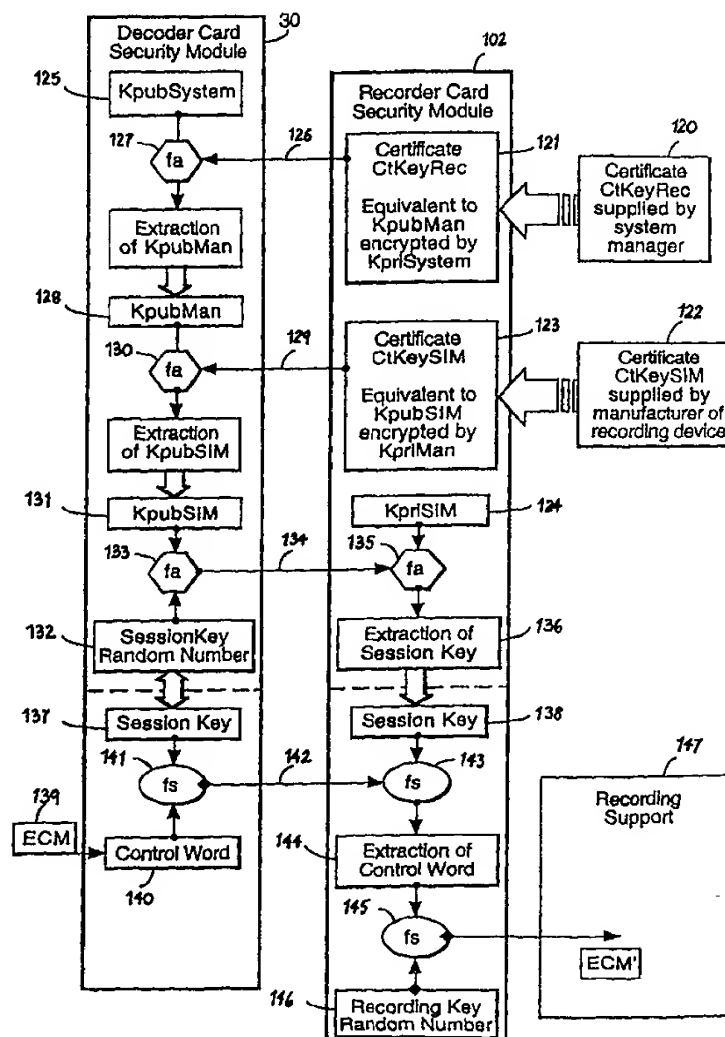
Published

With international search report.

(54) Title: METHOD AND APPARATUS FOR SECURE COMMUNICATION OF INFORMATION BETWEEN A PLURALITY OF DIGITAL AUDIOVISUAL DEVICES

(57) Abstract

The present invention relates to a method of providing secure communication of information between at least a first and second digital audiovisual device (30, 52) and characterised in that the first device (30) communicates to the second device (52) a certificate Ct(KpubT) comprising a transport public key KpubT encrypted by a management private key KpriMan, the second device (52) decrypting the certificate using an equivalent management public key KpubMan and thereafter using the transport public key KpubT to encrypt information sent to the first device, the first device using an equivalent private key KpriT to decrypt the information. The present invention is particularly applicable to a method of providing secure communication between a first and second decoder.



FOR THE PURPOSES OF INFORMATION ONLY

Codes used to identify States party to the PCT on the front pages of pamphlets publishing international applications under the PCT.

AL	Albania	ES	Spain	LS	Lesotho	SI	Slovenia
AM	Armenia	FI	Finland	LT	Lithuania	SK	Slovakia
AT	Austria	FR	France	LU	Luxembourg	SN	Senegal
AU	Australia	GA	Gabon	LV	Latvia	SZ	Swaziland
AZ	Azerbaijan	GB	United Kingdom	MC	Monaco	TD	Chad
BA	Bosnia and Herzegovina	GE	Georgia	MD	Republic of Moldova	TG	Togo
BB	Barbados	GH	Ghana	MG	Madagascar	TJ	Tajikistan
BE	Belgium	GN	Guinea	MK	The former Yugoslav Republic of Macedonia	TM	Turkmenistan
BF	Burkina Faso	GR	Greece	ML	Mali	TR	Turkey
BG	Bulgaria	HU	Hungary	MN	Mongolia	TT	Trinidad and Tobago
BJ	Benin	IE	Ireland	MR	Mauritania	UA	Ukraine
BR	Brazil	IL	Israel	MW	Malawi	UG	Uganda
BY	Belarus	IS	Iceland	MX	Mexico	US	United States of America
CA	Canada	IT	Italy	NE	Niger	UZ	Uzbekistan
CF	Central African Republic	JP	Japan	NL	Netherlands	VN	Viet Nam
CG	Congo	KE	Kenya	NO	Norway	YU	Yugoslavia
CH	Switzerland	KG	Kyrgyzstan	NZ	New Zealand	ZW	Zimbabwe
CI	Côte d'Ivoire	KP	Democratic People's Republic of Korea	PL	Poland		
CM	Cameroon	KR	Republic of Korea	PT	Portugal		
CN	China	KZ	Kazakstan	RO	Romania		
CU	Cuba	LC	Saint Lucia	RU	Russian Federation		
CZ	Czech Republic	LI	Liechtenstein	SD	Sudan		
DE	Germany	LK	Sri Lanka	SE	Sweden		
DK	Denmark	LR	Liberia	SG	Singapore		
EE	Estonia						

**METHOD AND APPARATUS FOR SECURE COMMUNICATION OF
INFORMATION BETWEEN A PLURALITY OF DIGITAL AUDIOVISUAL
DEVICES**

5 The present invention relates to a method and apparatus for secure communication of information between a plurality of digital audiovisual devices connected in a network.

The present invention is particularly applicable to the field of digital television, where scrambled audiovisual information is broadcast to a number of subscribers, each
10 subscriber possessing a decoder or integrated receiver/decoder (IRD) capable of descrambling the transmitted program for subsequent viewing.

In a typical system, scrambled digital audiovisual data is transmitted together with a control word for descrambling of the digital data, the control word itself being
15 encrypted by an exploitation key and transmitted in encrypted form. A decoder receives the scrambled digital data and encrypted control word which uses an equivalent of the exploitation key to decrypt the encrypted control word and thereafter descramble the transmitted data. A paid-up subscriber will receive periodically the exploitation key necessary to decrypt the encrypted control word so as to permit
20 viewing of a particular program. Encryption and decryption keys are conventionally stored in a portable security module, such as a smart card used to personalise the decoder.

A particular problem arises in the case of a user who has two or more decoders since
25 existing subscription management systems often have difficulty in opening a second subscription for the same person at the same address. Consequently, in such circumstances, it would be advantageous to allow two or more decoders to function using the same subscription.

30 The PCT patent application WO 97/35430 in the name of News Datacom Limited shows one possible solution to this problem. In this system, a pair of decoders are organised in a master/slave configuration. Subscription rights are managed by the

master decoder and its associated smart card. In order to transfer rights to the slave decoder, the slave smart card must be inserted at regular intervals in the master decoder. The disadvantage of this system is that a user is obliged to manually withdraw, recharge and replace the card in the slave decoder.

5

Other proposed solutions have included the generation of a duplicate smart card containing exactly the same rights as present in a master smart card. Such a solution is also undesirable, since it may not be wished to give exactly the same rights to multiple decoders and since the creation of a clone or duplicate card always incurs the risk fraud.

10

Another particular problem associated with data transmitted in a digital system lies in its ease of reproduction with no loss of quality. Where a descrambled program is passed via an analogue link (e.g. the " Peritel " link) for viewing and recording by a standard VCR the quality remains no greater than that associated with a standard analogue cassette recording.

15

By way of contrast, any descrambled digital data passed by a direct digital link to one of the new generation of digital recording devices (for example, a DVHS or DVD recorder) will be of the same quality as the originally transmitted program and may thus be reproduced any number of times without any degradation of image or sound quality. There is therefore a considerable risk that recorded descrambled data will be used as a master recording to make pirate copies.

20

French Patent Application 95 03859 shows one way of overcoming this problem. In this system, descrambled digital data is never recorded directly on the digital recording medium. Instead, the decoder described in this application forwards the data for recordal on the support medium in its scrambled form. The control word necessary to descramble the data is re-encrypted by means of another key and stored on the recording support with the scrambled data. This new key is known only to the receiver/decoder and replaces the exploitation key needed to obtain the control word for viewing of the program.

25

30

-3-

The advantage of such a system is that the data is never stored in a "clear" form and cannot be viewed without possession of the new key, stored in the decoder. The system also possesses the advantage that, since the exploitation key changes on a monthly basis, the use of a key chosen by the decoder to re-encrypt the control word registered on the digital tape means that the decoder will still be able to decrypt the control word recorded on the tape even after the end of a subscription month.

The disadvantage of the system proposed in this previous patent application is that the recording can only be viewed in conjunction with that particular decoder. If that decoder breaks down, or is replaced, the recording can no longer be replayed. Equally, it is not possible to play the recording directly in a digital recorder without connecting the decoder in the system.

In order to enable the decoder and recorder to function more effectively it is desired to provide a securised or encrypted communication link between the devices. As will be appreciated from the above description, the interaction of the decoder and recorder may lead to problems, for example, where scrambled transmissions are recorded but where only the decoder possesses the information needed to decrypt such transmissions. The implementation of a secure link between the devices can be used to enable information needed to prepare or play a recording to be passed freely between the devices.

It is an object of the present invention in its general and specific embodiments to overcome some or all of the problems of these prior art systems.

According to the present invention there is providing a method of providing secure communication of information between at least a first and second digital audiovisual device and characterised in that the second device receives a certificate comprising a transport public key encrypted by a management private key, the second device decrypting the certificate using an equivalent management public key and thereafter using the transport public key to encrypt information sent to the first device, the first device using an equivalent private key to decrypt the information.

In such a method, the first device can assume the role of a master device, personalised with a certificate generated using a management private key. The management private key is held in secret by the system manager and may not be derived from the information stored in the certificate. The second device can assume the role of a slave device. Information encrypted by the transport public key held by the second device may only be decrypted by the equivalent private key held by the first device. As will be described below, this information may thereafter be used to set up a secure bi-directional link to transfer subscription rights and other information.

10

Advantageously, the transport private/public key pair are uniquely associated with the first and second device pair. This ensures complete security of encrypted messages transmitted to the first device.

15 As will be appreciated, whilst the use of unique keys enables an increased level of security it may be decided in some cases to use non-unique keys, for example, for different pairs of devices distributed in different territories, where the security risk associated with such duplication is relatively low.

20 Preferably, the encrypted information sent by the second device comprises a session key, in particular, a session key generated by the second device and usable in conjunction with a symmetric encryption algorithm. This key, which may be generated at the initiation of a communication session for transfer of subscription can thereafter be used for bi-directional communication of information between the first and second devices.

25

In an alternative embodiment a session key pair corresponding to a private/public key pair of an asymmetric algorithm may be used.

30 The advantage of a changeable symmetric session key lies in the increased level of security that such a key provides as well as the possibility of bi-directional communication that it enables. Other embodiments are nevertheless possible, for

-5-

example, in which transmission related information is directly encrypted using the transport public key held by the second device.

5 In one embodiment, the session key is used by the first device to encrypt control word information subsequently communicated to the second device. In such an embodiment, the second device decrypts the control word information using the equivalent session key and thereafter descrambles an associated transmission or programme for display.

10 In one embodiment, prior to the communication of the first certificate, the second device receives a secondary system certificate comprising the management public key encrypted by a system private key, the second device decrypting the system certificate using a system public key so as to obtain the management public key used thereafter to decrypt the encrypted transport public key.

15 This embodiment may be implemented, for example, where a different source for the first and second devices exists. The system private key may be held in secret by, for example, the source of the second device. A system certificate will only be issued in the event that the second device source is sure of the integrity of security at the first device source. Thereafter, a designated first device source will embed this certificate in all first device smart cards, such that a second device smart card can authenticate the origin of such cards.

20 As will be understood, the second device source need only know the management public key of the first device source in order to generate a system certificate and neither party needs to share its private encryption keys in carrying out these certifying operations.

30 The secure communication link between the devices may be used to convey many different types of information, including different information relating to descrambling a transmission or even other matters. In particular, whilst the above embodiments discuss the use of a session key in the encryption and communication of control word

information, other embodiments are possible. For example, audio and/or visual data to be recorded may be directly encrypted by the first device using a session key and communicated directly to the second device for decryption and display.

- 5 Other embodiments may use the secure communication link to transfer, for example, exploitation keys present in the first device such that the second device can carry out all operations to decrypt control word information and descramble a transmission in the same manner as the first device.
- 10 Whilst the above description has described encryption and decryption operations in relation to a first and second device it is to be understood that these operations and, in particular the keys needed in such operations, need not necessarily be managed or held by elements permanently integrated in the devices themselves.
- 15 In particular, in a preferred embodiment, the first and second devices further comprise first and second portable security modules used to carry out some or all of the encryption or decryption steps described above.

- Such portable security devices can take any convenient form depending on the physical size and characteristics of the device. For example, whilst in some cases a smart card equivalent to a bank card may be used, other formats such as PCMCIA type cards are equally possible.
- 20

- The physical communication link between the two devices may take many forms, for example, a radio, telephone or infra-red link. However, preferably, the communication link is implemented by connection of the first and second decoders on a bus, for example, a IEEE 1394 bus link.
- 25

- Whilst the invention has been described with reference to a first and second device, it will be appreciated that the same principal may be used to set up a chain of communication between a series of such devices, e.g. between a single master device and a plurality of slave devices.
- 30

-7-

The present invention is particularly, but not exclusively, applicable to the implementation of secure communication link between a first and second decoder. However, other applications of the invention for use with other digital audiovisual devices may be envisaged, for example, to encrypt information from a decoder to a digital VCR, between two digital VCRs etc.

In one preferred embodiment, the devices comprise a decoder device and a recorder device. Thus, the present invention extends to a method of providing secure communication of information between a decoder device and a recorder device and characterised in that a first one of the devices communicates to the second device a certificate comprising a device public key encrypted by a management private key, the second device decrypting the certificate using an equivalent management public key and thereafter using the device public key to encrypt information sent to the first device, the first device using an equivalent device private key to decrypt the information.

In such a method, the first device initiating the communication is personalised with a certificate generated by a management private key. The management private key is held in secret by the source responsible for this device (e.g. a recorder device manufacturer) and may not be derived from the information stored in the certificate. The communication of such a certificate therefore provides the second device with a level of assurance concerning the identity and origin of the device initiating the communication.

In addition, the information encrypted by the device public key held by the second device may only be decrypted by the equivalent private key held by the first device thereby enabling the second device to communicate in confidence information to the first device. As will be described below, this information may thereafter be used to set up a secure bi-directional link.

30

Preferably, prior to the communication of the first device certificate, the first device communicates to the second device a system certificate comprising the management

public key encrypted by a system private key, the second device decrypting the system certificate using a system public key so as to obtain the management public key used thereafter to decrypt the device certificate.

- 5 The private system key may be held in secret by, for example, the source of the second device (e.g. a broadcast system manager responsible for the decoder). A system certificate will only be issued in the event that the second device source is sure of the integrity of security at the first device source, that is, that the second device source is sure that the management private key is only known to by the first
10 device source and that the necessary measures have been put in place to keep this key secret.

- As will be understood, the second device source need only know the public management key of the first device source in order to generate a system certificate
15 and neither party needs to share its private encryption keys in carrying out these certifying operations.

- Advantageously, the device private/public key pair are uniquely associated with the first device. This ensures complete security of encrypted messages transmitted to the
20 first device. Further advantageously, the management private/public key pair are uniquely associated with the source of the first device and the system private/public key pair (if present) are uniquely associated with the source of the second device.

- As will be appreciated, although the use of unique keys enables an increased level of
25 security, it may be decided in some cases to use non-unique keys. For example, in the case of high volume of production of first devices, certain of these devices may share the same device private key if such devices are distributed in different territories, since the security risk associated with such duplication is relatively low.

- 30 Preferably, the encrypted information sent by the second device comprises a session key, in particular, a session key generated by the second device and usable in conjunction with a symmetric encryption algorithm. This key, which may be

generated at the initiation of a recording session can thereafter be used for bi-directional communication of information between the first and second devices.

5 In an alternative embodiment, a session key pair corresponding to a private/public key pair of an asymmetric algorithm may be used.

10 The advantage of a changeable session key lies in the increased level of security that such a key provides as well as the possibility of secure bi-directional communication that it enables if a symmetric session key is chosen. Other embodiments are nevertheless possible, for example, in which information associated with a recording operation may be directly encrypted using the device public key held by the second device.

15 In one embodiment, the session key is used by the decoder device to encrypt control word information subsequently communicated to the recorder device. In such an embodiment, the recorder device may decrypt the control word information using the equivalent session key and thereafter re-encrypt the control word information using a recording encryption key, the re-encrypted control word information being stored by the recorder on a recording support medium together with the scrambled
20 transmission data associated with that control word information.

25 The encryption of control word information using a recording key held by the recorder device enables the recorder device to replay at any time a recorded scrambled transmission independently of the decoder device originally used to receive and forward the transmission.

Advantageously, the recorder device communicates to the decoder device a copy of the recording encryption key. This may be conveniently encrypted by the session key prior to communication. This copy may thereafter be decrypted by the decoder and
30 a back-up copy of the recording key stored in the decoder.

As will be understood, the secure communication link may be used to convey many

different types of information. In particular, whilst the above embodiments discuss the use of a session key in the encryption and communication of control word information for use in a recording operation, other embodiments are possible. For example, audio and/or visual data to be recorded may be directly encrypted by the
5 decoder using a session key and communicated to the recorder for decryption and subsequent re-encryption prior to recordal.

Other embodiments may use the secure communication link to transfer, for example, decoder exploitation keys to the recorder device such that the recorder device can
10 carry out all operations to decrypt control word information and/or descramble a transmission prior to its recordal in a re-encrypted or rescrambled form on a recording support medium.

Whilst the above description has described encryption and decryption operations in
15 relation to a decoder device or recorder device it is to be understood that these operations and, in particular the keys needed in such operations, need not necessarily be handled by elements permanently integrated in the devices themselves.

In particular, in a preferred embodiment, the recorder and/or decoder device may
20 further comprise a portable security module associated with that device and used to carry out some or all of the encryption or decryption steps described above.

Such portable security devices can take any convenient form depending on the physical size and characteristics of the decoder or recorder. For example, a smart
25 card or PCMCIA type card may be used with a decoder and a SIM card or similar with a recorder.

In a particularly preferred embodiment of the invention, the first device corresponds to a recorder device and the second device to a decoder device. In such a system the
30 decoder system manager will have ultimate control, for example, over generation of system certificates issued to recorder manufacturers. Similarly communication will be initiated by the recorder, the decoder only communicating an encrypted message

containing the information that will be needed to set up a bi-directional communication in the event that the recorder has communicated correct system and/or management certificates.

5 Whilst the invention is particularly convenient where the decoder and recorder are physically separate, the invention may equally be used in a combination recorder/decoder apparatus to provide, for example, a secure bus link between the recorder and decoder devices within the combined apparatus.

10 The present invention is particularly but not exclusively adapted for use with a digital television transmission system in which the decoders are adapted to receive a digital television transmission.

The present invention has been described above in relation to a method of
15 communication. The invention equally extends to a first and second device adapted for use in such a method and one or more portable security modules adapted for use in such a system.

Suitable algorithms for use in this invention for generating private/public keys may
20 include, for example, RSA or Diffie-Hellman, and suitable symmetric key algorithms may include DES type algorithms, for example. However, unless obligatory in view of the context or unless otherwise specified, no general distinction is made between keys associated with symmetric algorithms and those associated with public/private algorithms.

25

The terms "scrambled" and "encrypted" and "control word" and "key" have been used at various parts in the text for the purpose of clarity of language. However, it will be understood that no fundamental distinction is to be made between "scrambled data" and "encrypted data" or between a "control word" and a "key". Similarly, the
30 term "equivalent key" is used to refer to a key adapted to decrypt data encrypted by a first mentioned key, or vice versa.

The term "receiver/decoder" or "decoder" as used herein may connote a receiver for receiving either encoded or non-encoded signals, for example, television and/or radio signals, which may be broadcast or transmitted by some other means. The term may also connote a decoder for decoding received signals. Embodiments of such decoders
5 may also include a decoder integral with the receiver for decoding the received signals, for example, in a "set-top box", a decoder functioning in combination with a physically separate receiver, or such a decoder including additional functions, such as a web browser or a video recorder or a television.

10 As used herein, the term "digital transmission system" includes any transmission system for transmitting or broadcasting for example primarily audiovisual or multimedia digital data. Whilst the present invention is particularly applicable to a broadcast digital television system, the invention may also be applicable to a fixed telecommunications network for multimedia internet applications, to a closed circuit
15 television, and so on.

As used herein, the term "digital television system" includes for example any satellite, terrestrial, cable and other system.

20 There will now be described, by way of example only, a number of embodiments of the invention, with reference to the following figures, in which:

Figure 1 shows the overall architecture of a digital TV system according to this embodiment;

25

Figure 2 shows the architecture of the conditional access system of Figure 1;

Figure 3 shows the encryption levels in the conditional access system;

30 Figure 4 shows the layout of a first and second decoder;

Figure 5 shows the steps associated with setting up a secure communication link

-13-

between the first and second decoder; and

Figure 6 shows the operation of the first and second decoder in transferring control word information via the secure communication link.

5

Figure 7 shows the layout of a decoder and digital recording device; and

Figure 8 shows the steps associated with the personalisation of decoder and recorder security modules and with the subsequent operations carried out to set up a secure communication link between the devices.

10

An overview of a digital television broadcast and reception system 1 is shown in Figure 1. The invention includes a mostly conventional digital television system 2 which uses the MPEG-2 compression system to transmit compressed digital signals. In more detail, MPEG-2 compressor 3 in a broadcast centre receives a digital signal stream (for example a stream of audio or video signals). The compressor 3 is connected to a multiplexer and scrambler 4 by linkage 5. The multiplexer 4 receives a plurality of further input signals, assembles one or more transport streams and transmits compressed digital signals to a transmitter 6 of the broadcast centre via linkage 7, which can of course take a wide variety of forms including telecom links.

15

20

The transmitter 6 transmits electromagnetic signals via uplink 8 towards a satellite transponder 9, where they are electronically processed and broadcast via a notional downlink 10 to earth receiver 11, conventionally in the form of a dish owned or rented by the end user. The signals received by receiver 11 are transmitted to an integrated receiver/decoder 12 owned or rented by the end user and connected to the end user's television set 13. The receiver/decoder 12 decodes the compressed MPEG-2 signal into a television signal for the television set 13.

25

A conditional access system 20 is connected to the multiplexer 4 and the receiver/decoder 12, and is located partly in the broadcast centre and partly in the decoder. It enables the end user to access digital television broadcasts from one or

30

-14-

more broadcast suppliers. A smartcard, capable of decrypting messages relating to commercial offers (that is, one or several television programmes sold by the broadcast supplier), can be inserted into the receiver/decoder 12. Using the decoder 12 and smartcard, the end user may purchase events in either a subscription mode or a pay-per-view mode.

An interactive system 17, also connected to the multiplexer 4 and the receiver/decoder 12 and again located partly in the broadcast centre and partly in the decoder, may be provided to enable the end user to interact with various applications via a modemmed back channel 16.

The conditional access system 20 will now be described in more detail. With reference to Figure 2, in overview the conditional access system 20 includes a Subscriber Authorization System (SAS) 21. The SAS 21 is connected to one or more Subscriber Management Systems (SMS) 22, one SMS for each broadcast supplier, for example by a respective TCP-IP linkage 23 (although other types of linkage could alternatively be used). Alternatively, one SMS could be shared between two broadcast suppliers, or one supplier could use two SMSs, and so on.

First encrypting units in the form of ciphering units 24 utilising "mother" smartcards 25 are connected to the SAS by linkage 26. Second encrypting units again in the form of ciphering units 27 utilising mother smartcards 28 are connected to the multiplexer 4 by linkage 29. The receiver/decoder 12 receives a portable security module, for example in the form of "daughter" smartcard 30. It is connected directly to the SAS 21 by Communications Servers 31 via the modemmed back channel 16. The SAS sends, amongst other things, subscription rights to the daughter smartcard on request.

The smartcards contain the secrets of one or more commercial operators. The "mother" smartcard encrypts different kinds of messages and the "daughter" smartcards decrypt the messages, if they have the rights to do so.

-15-

The first and second ciphering units 24 and 27 comprise a rack, an electronic VME card with software stored on an EEPROM, up to 20 electronic cards and one smartcard 25 and 28 respectively, for each electronic card, one card 28 for encrypting the ECMs and one card 25 for encrypting the EMMs.

5

The operation of the conditional access system 20 of the digital television system will now be described in more detail with reference to the various components of the television system 2 and the conditional access system 20.

10 Multiplexer and Scrambler

With reference to Figures 1 and 2, in the broadcast centre, the digital audio or video signal is first compressed (or bit rate reduced), using the MPEG-2 compressor 3. This compressed signal is then transmitted to the multiplexer and scrambler 4 via the linkage 5 in order to be multiplexed with other data, such as other compressed data.

15

The scrambler generates a control word used in the scrambling process and included in the MPEG-2 stream in the multiplexer. The control word is generated internally and enables the end user's integrated receiver/decoder 12 to descramble the programme.

20

Access criteria, indicating how the programme is commercialised, are also added to the MPEG-2 stream. The programme may be commercialised in either one of a number of "subscription" modes and/or one of a number of "Pay Per View" (PPV) modes or events. In the subscription mode, the end user subscribes to one or more commercial offers, or "bouquets", thus getting the rights to watch every channel inside those bouquets. In the preferred embodiment, up to 960 commercial offers may be selected from a bouquet of channels.

25

30 In the Pay Per View mode, the end user is provided with the capability to purchase events as he wishes. This can be achieved by either pre-booking the event in advance ("pre-book mode"), or by purchasing the event as soon as it is broadcast ("impulse

mode"). In the preferred embodiment, all users are subscribers, whether or not they watch in subscription or PPV mode, but of course PPV viewers need not necessarily be subscribers.

5 Entitlement Control Messages

Both the control word and the access criteria are used to build an Entitlement Control Message (ECM). This is a message sent in relation with a scrambled program; the message contains a control word (which allows for the descrambling of the program) and the access criteria of the broadcast program. The access criteria and control word are transmitted to the second encrypting unit 27 via the linkage 29. In this unit, an ECM is generated, encrypted and transmitted on to the multiplexer and scrambler 4. During a broadcast transmission, the control word typically changes every few seconds, and so ECMs are also periodically transmitted to enable the changing control word to be descrambled. For redundancy purposes, each ECM typically includes two control words; the present control word and the next control word.

Each service broadcast by a broadcast supplier in a data stream comprises a number of distinct components; for example a television programme includes a video component, an audio component, a sub-title component and so on. Each of these components of a service is individually scrambled and encrypted for subsequent broadcast to the transponder 9. In respect of each scrambled component of the service, a separate ECM is required. Alternatively, a single ECM may be required for all of the scrambled components of a service. Multiple ECMs are also generated in the case where multiple conditional access systems control access to the same transmitted program.

Entitlement Management Messages (EMMs)

30 The EMM is a message dedicated to an individual end user (subscriber), or a group of end users. Each group may contain a given number of end users. This organisation as a group aims at optimising the bandwidth; that is, access to one group

-17-

can permit the reaching of a great number of end users.

Various specific types of EMM can be used. Individual EMMs are dedicated to individual subscribers, and are typically used in the provision of Pay Per View services; these contain the group identifier and the position of the subscriber in that group.

Group subscription EMMs are dedicated to groups of, say, 256 individual users, and are typically used in the administration of some subscription services. This EMM has a group identifier and a subscribers' group bitmap.

Audience EMMs are dedicated to entire audiences, and might for example be used by a particular operator to provide certain free services. An "audience" is the totality of subscribers having smartcards which bear the same conditional access system identifier (CA ID). Finally, a "unique" EMM is addressed to the unique identifier of the smartcard.

EMMs may be generated by the various operators to control access to rights associated with the programs transmitted by the operators as outlined above. EMMs may also be generated by the conditional access system manager to configure aspects of the conditional access system in general.

Programme Transmission

The multiplexer 4 receives electrical signals comprising encrypted EMMs from the SAS 21, encrypted ECMs from the second encrypting unit 27 and compressed programmes from the compressor 3. The multiplexer 4 scrambles the programmes and sends the scrambled programmes, the encrypted EMMs and the encrypted ECMs to a transmitter 6 of the broadcast centre via the linkage 7. The transmitter 6 transmits electromagnetic signals towards the satellite transponder 9 via uplink 8.

Programme Reception

-18-

The satellite transponder 9 receives and processes the electromagnetic signals transmitted by the transmitter 6 and transmits the signals on to the earth receiver 11, conventionally in the form of a dish owned or rented by the end user, via downlink 10. The signals received by receiver 11 are transmitted to the integrated receiver/decoder 12 owned or rented by the end user and connected to the end user's television set 13. The receiver/decoder 12 demultiplexes the signals to obtain scrambled programmes with encrypted EMMs and encrypted ECMs.

If the programme is not scrambled, that is, no ECM has been transmitted with the MPEG-2 stream, the receiver/decoder 12 decompresses the data and transforms the signal into a video signal for transmission to television set 13.

If the programme is scrambled, the receiver/decoder 12 extracts the corresponding ECM from the MPEG-2 stream and passes the ECM to the "daughter" smartcard 30 of the end user. This slots into a housing in the receiver/decoder 12. The daughter smartcard 30 controls whether the end user has the right to decrypt the ECM and to access the programme. If not, a negative status is passed to the receiver/decoder 12 to indicate that the programme cannot be descrambled. If the end user does have the rights, the ECM is decrypted and the control word extracted. The decoder 12 can then descramble the programme using this control word. The MPEG-2 stream is decompressed and translated into a video signal for onward transmission to television set 13.

Subscriber Management System (SMS)

25

A Subscriber Management System (SMS) 22 includes a database 32 which manages, amongst others, all of the end user files, commercial offers, subscriptions, PPV details, and data regarding end user consumption and authorization. The SMS may be physically remote from the SAS.

30

Each SMS 22 transmits messages to the SAS 21 via respective linkage 23 which imply modifications to or creations of Entitlement Management Messages (EMMs)

to be transmitted to end users.

The SMS 22 also transmits messages to the SAS 21 which imply no modifications or creations of EMMs but imply only a change in an end user's state (relating to the authorization granted to the end user when ordering products or to the amount that the end user will be charged).

The SAS 21 sends messages (typically requesting information such as call-back information or billing information) to the SMS 22, so that it will be apparent that communication between the two is two-way.

Subscriber Authorization System (SAS)

The messages generated by the SMS 22 are passed via linkage 23 to the Subscriber Authorization System (SAS) 21, which in turn generates messages acknowledging receipt of the messages generated by the SMS 21 and passes these acknowledgements to the SMS 22.

In overview the SAS comprises a Subscription Chain area to give rights for subscription mode and to renew the rights automatically each month, a Pay Per View Chain area to give rights for PPV events, and an EMM Injector for passing EMMs created by the Subscription and PPV chain areas to the multiplexer and scrambler 4, and hence to feed the MPEG stream with EMMs. If other rights are to be granted, such as Pay Per File (PPF) rights in the case of downloading computer software to a user's Personal Computer, other similar areas are also provided.

One function of the SAS 21 is to manage the access rights to television programmes, available as commercial offers in subscription mode or sold as PPV events according to different modes of commercialisation (pre-book mode, impulse mode). The SAS 21, according to those rights and to information received from the SMS 22, generates EMMs for the subscriber.

-20-

The EMMs are passed to the Ciphering Unit (CU) 24 for ciphering with respect to the management and exploitation keys. The CU completes the signature on the EMM and passes the EMM back to a Message Generator (MG) in the SAS 21, where a header is added. The EMMs are passed to a Message Emitter (ME) as complete
5 EMMs. The Message Generator determines the broadcast start and stop time and the rate of emission of the EMMs, and passes these as appropriate directions along with the EMMs to the Message Emitter. The MG only generates a given EMM once; it is the ME which performs cyclic transmission of the EMMs.

10 On generation of an EMM, the MG assigns a unique identifier to the EMM. When the MG passes the EMM to the ME, it also passes the EMM ID. This enables identification of a particular EMM at both the MG and the ME.

In systems such as simulcrypt which are adapted to handle multiple conditional access
15 systems e.g. associated with multiple operators, EMM streams associated with each conditional access system are generated separately and multiplexed together by the multiplexer 4 prior to transmission.

Encryption Levels of the Broadcast System

20

Referring now to Figure 3, a simplified outline of the encryption levels in a standard broadcast system will now be described. The stages of encryption associated with the broadcast of the digital data are shown at 41, the transmission channel (eg a satellite link as described above) at 42 and the stages of decryption at the receiver at 43.

25

The digital data N is scrambled by a control word CW before being transmitted to a multiplexer Mp for subsequent transmission. As will be seen from the lower part of Figure 3, the transmitted data includes an ECM comprising, inter alia, the control word CW as encrypted by an encrypter Ch1 controlled by an exploitation key Kex.

30

At the receiver/decoder, the signal passes by a demultiplexer DMp and descrambler D before being passed to a television 13 for viewing. A decryption unit DCh1 also possessing the key Kex decrypts the ECM in the demultiplexed signal to obtain the

control word CW subsequently used to descramble the signal.

For security reasons, the control word CW embedded in the encrypted ECM changes on average every 10 seconds or so. In contrast, the first encryption key Kex used by the receiver to decode the ECM is changed every month or so by means of an operator EMM. The encryption key Kex is encrypted by a second unit ChP using a personalised group key K1(GN). If the subscriber is one of those chosen to receive an updated key Kex, a decryption unit DChP in the decoder security module will decrypt the message using its group key K1(GN) to obtain that month's key Kex.

10

The decryption units DChp and DCh1 and the associated keys are held on a security module associated with the decoder, in this case the smart card 30 provided to the subscriber and inserted in a smart card reader in the decoder. The keys may be generated, for example, according to any generally used symmetric key algorithm or in accordance with a customised symmetric key algorithm.

15

As will be described, different keys may be associated with different operators or broadcasters as well as with the conditional access system supplier. In the above description, a group key K1(GN) is held by the smart card associated with the decoder and used to decrypt EMM messages. In practice, different operators will have different subscriber unique keys K1 (Op1, GN), K1 (Op2, GN) etc. Each group key is generated by an operator and diversified by a value associated with the group to which the subscriber belongs.

20

Different memory zones in the smart card hold the keys for different operators. Each operator may also have a unique key associated solely with the smart card in question and an audience key for all subscribers to the services provided by that operator (see above).

25

In addition, a set of keys may also be held by the manager of the conditional access system. In particular, a given smart card may include a user specific key K0 (NS) and an audience key K1 (C), common to all smart cards. Whilst the operator keys

30

-22-

are generally used to decode EMM messages associated with broadcast rights, the conditional access manager keys may be used to decrypt EMM messages associated with changes to conditional access system in general, as will be described below.

- 5 The above description of the system shown in Figure 3 relates to the implementation of access control in a broadcast system in which transmissions are descrambled by a single decoder and displayed on a single television display. Referring to Figure 4, a first and second decoder configuration will now be described.

10 Decoder Configuration

As before, a decoder 12 receives scrambled broadcast transmissions via a receiver 11. The decoder includes a portable security module 30, which may conveniently take the form of a smart card, but which may comprise any other suitable memory or
15 microprocessor portable device. The decoder 12 is connected to a modem channel 16, for example, for communicating with servers handling conditional access information and is also adapted to pass descrambled audiovisual display information, e.g. via a Peritel link 53, to a television 13.

- 20 The system additionally includes a dependent or slave decoder 50 adapted to communicate with the decoder 12, for example, via an IEEE 1394 bus 51. The decoder 50 may include a connection (not shown) to the receiver 11 or to another satellite receiver to directly receive scrambled broadcast transmissions. Alternatively, this information may be passed from the first decoder 12 via the connection 51.

25

The second decoder 50 is further adapted to function with a portable security module 52. The portable security module 52 may conveniently be implemented as smart card. However, any portable memory and/or microprocessor device as is conventionally known, such as a PCMCIA card, a microprocessor key etc. may be
30 used. The operation of this module 52 in descrambling transmissions will be explained below.

-23-

The decoder 50 also includes a link 54 to a television display 55 used to display descrambled transmissions. Whilst the elements of the decoders 12, 50 and the displays 13, 55 have been indicated separately, it is envisaged that some or all of these elements may be merged, for example, to provide a combined
5 decoder/television set.

Secure Communication between Decoders

As set out in the introduction, in order to avoid problems relating to management of
10 subscription data, it is desirable that only a single subscription is opened for the owner of the two decoders 12, 50. In the case where the decoder 12 is the principal or first decoder in the system, smart card 30 will be personalised to receive the monthly exploitation key Kex as described above in relation to Figure 3. In order to enable the decoder 50 to descramble and display a transmission via the display 55 it
15 will be necessary to communicate certain information from the security module 30 to the security module 52 to enable this descrambling to be carried out.

In the present embodiment, the smart card 30 decrypts the ECM messages associated with a transmission so as to obtain the control word CW value. This control word
20 value is then communicated in an encrypted form via the link 51 to the decoder 50 and smart card 52, where it is used by the decoder 50 and smart card 52 to descramble the transmission and display the programme via the display 55.

Embodiments other than this control word embodiment may nevertheless be
25 envisaged, for example, in which a copy of the monthly exploitation Kex is passed to the decoder and smart card 50, 52 to enable the decoder 50 to operate independently thereafter.

As will be appreciated, in order to avoid any problems of fraud, it is essential that
30 control word information or, indeed, any other information used in decrypting and descrambling a transmission, is never transmitted in a clear form over the link 51.

-24-

There will now be described with reference to Figures 5 and 6, a method for enabling such a secure communication link to be implemented.

For the sake of clarity, all encryption operations using a public/private key algorithm are indicated by means of the symbol f_a , whilst all operations using a symmetric algorithm are indicated by the symbol f_s . Decryption operations are indicated as f_a^{-1} or f_s^{-1} .

Private/public keys pairs may be generated in accordance with any suitable asymmetric encryption algorithm such as RSA or Diffie-Hellman. Symmetric keys may be used with algorithms such as DES. In some cases, custom symmetric algorithms may also be used.

Referring to Figure 5, the smart card 52 for the decoder 50 is personalised with a public key KpubMan shown at 65 and equivalent to the public key associated with a private management key KpriMan shown at 61. In practice, all smartcards 52 intended for use with dependent or slave decoders will include the key KpubMan.

This personalisation step will be normally carried out in private at the headquarters of the system manager, either at the moment of first personalisation of the card (if it is already envisaged to provide a second decoder) or when a user demands the inclusion of a second decoder in his subscription.

Subsequently, the system manager possessing the secret private key KpriMan shown at 61 will communicate in a dedicated EMM message 62 a certificate Ct(KpubT) shown at 63. The certificate is prepared by encrypting a public key KpubT with the private manager key KpriMan. The EMM further includes a private key KpriT shown at 64 and stored together with the certificate Ct(KpubT) in the non-volatile memory of the smart card 30.

30

This EMM is itself encrypted in the normal manner for EMMs dedicated to one decoder using appropriate transmission or exploitation keys, such that only the

-25-

decoder 12 and card 30 may decrypt this EMM message.

At the moment when the two decoders are put in communication via the IEEE 1394 link 51, the smart card 30 sends the certificate $Ct(K_{pubT})$ to the smart card 52 as shown at 66. Using the public key K_{pubMan} , the card decrypts the certificate at 67 to obtain the public key K_{pubT} as shown at 68. This public key K_{pubT} will thereafter be uniquely associated with the pairs of decoders 12, 50 and cards 30, 52.

The card 52 thereafter generates a random key value K_s shown at 69. As will be described, this random key is later used as a session key in conjunction with a symmetric algorithm to encrypt messages communicated in both directions between the cards 30, 52. A new session key value may be generated at every subsequent re-connection of the decoder 50 and card 52 in the system, i.e. every time the decoder 50 is switched on by a user, or at every viewing session, for example, of a pay per view film.

The symmetric key K_s is encrypted at 70 using the public key K_{pubT} and the encrypted value sent at 71 to the smart card 30. The card 30 decrypts the message at 73 with the private key K_{priT} and stores the session key value at 72. As will be understood, in view of the nature of private/public encryption algorithms the encrypted message may only be decrypted by a card possessing the private key K_{priT} , that is, by the card 30.

As described above, the cards 30, 52 are programmed by the same system manager who embeds or communicates the values K_{priT} , $Ct(K_{pubT})$ and K_{pubMan} to the respective cards 30, 52. In a further realisation (not shown) a second layer of authorisation may be provided using a system private key $K_{priSystem}$. In this realisation, a certificate $Ct(K_{pubMan})$ comprising the key K_{pubMan} encrypted by $K_{priSystem}$ is stored in the card 30.

30

In such a realisation, the card 52 further possesses a secondary system public key $K_{pubSystem}$. In operation, the card 30 sends the encrypted value of certificate

Ct(KpubMan) to the card 52 which decrypts this message using KpubSystem to obtain KpubMan. Thereafter, the steps are the same as above, with the card 52 using the key KpubMan to obtain KpubT etc.

- 5 Turning now to Figure 6, the steps involved in the secure communication of control word information from the card 30 to the card 52 will now be described.

10 In normal operation, the slave decoder 50 and card 52 receive a scrambled transmission together with the encrypted ECM messages containing the control word information necessary to descramble the transmission. These ECM messages are passed at 75 via the IEEE 1394 link to the master decoder and card 12, 30. Alternatively, the ECM messages for a transmission that will be displayed via the slave decoder may be received directly by the master decoder and card 12, 30.

- 15 The card 30 then carries out at 76 a standard verification step to check that one or both of the decoders have the rights to access this transmission. In the event that the decoders do not have the necessary rights the "non-valid" message 77 is returned to the decoder and card 50, 52 and the process stops.

- 20 Assuming the subscriber possesses the necessary rights, the ECM message shown at 79 and containing the encrypted control word CW is then decrypted at 80 using the monthly exploitation key Kex shown at 81 associated with the system manager or operator.

- 25 The clear value of the control word shown at 81 is then re-encrypted at 82 using the previously obtained session key Ks shown at 83. As will be understood, the encryption algorithm used at 82 for the re-encryption of the control word need not correspond to that used at 80 and, indeed, for security reasons a different algorithm may be used. Conveniently, a custom algorithm proprietary to the system manager
30 may be used for steps relating to the exploitation key Kex including the decryption step shown at 80 and a generic algorithm such as DES used for the encryption of session messages shown at 80.

-27-

In some cases, additional information, such as copyright notification information may be introduced between the steps 81 and 82, such that the control word CW and this additional information are encrypted by K_s and sent to the second decoder and card. The presence of such information is more important in cases where the second
5 decoder is capable of recording the data or of passing the information to a recorder. The copyright notification may be used as a flag to prevent the second decoder from recording the data or from recording and playing back the data an infinite number of times, for example.

10 The encrypted control word is returned to the decoder 50 and card 52 as shown at 83. Using the equivalent session key K_s shown at 84, the card decrypts the message at 85 to obtain the control word in clear shown at 86. Thereafter, this control word value is used by the decoder and card 50, 52 to descramble the associated section of a transmission for subsequent display on the associated television display 55.

15 In some cases, it may be envisaged that the decoder 50 and card 52 may wish to pass information to another audiovisual device, such as a VCR. In such an example, the decoder 50 and card 52 may be supplied with the necessary private keys to assume the role of a "master" device and the same operations carried out, mutatis mutandis,
20 between the decoder and the other device to set up a secure link.

Whilst the above description has focused on the validation and communication of information in relation to a pair of decoders, the invention may equally expanded to cover a series of interconnected decoders, for example, a single master decoder
25 possessing a plurality of private transport keys K_{priT} for decryption of messages from a plurality of dependent decoders each possessing its equivalent public key K_{pubT} .

Furthermore, whilst the data communicated from the decoder to the recorder comprises the control word in the described example other information may be passed
30 via this link, even including information not related directly to descrambling a transmission.

-28-

Equally, the same principles as set out above may be applied to communications between other digital audiovisual devices connected in a network, such as digital VCRs, digital televisions or any combination of such devices. For example, referring to Figure 7, the elements of an access control system for recordal and replaying of scrambled transmission will now be described.

Decoder and Recorder Configuration

As before, a decoder 12 receives scrambled broadcast transmissions via a receiver 11.

10 The decoder includes a portable security module 30, which may conveniently take the form of a smart card, but which may comprise any other suitable memory or microprocessor device. The decoder 12 includes a modem channel 16, for example, for communicating with servers handling conditional access information and is also adapted to pass descrambled audiovisual display information, e.g. via a Peritel link

15 53, to a television 13. The system additionally includes a digital recorder 100, such as a DVHS or DVD recorder, adapted to communicate with the decoder, for example, via an IEEE 1394 bus 101. The recorder 100 receives a digital recording support (not shown) on which information is recorded.

20 The recorder 100 is further adapted to function with a portable security module 102 containing, inter alia, the keys used to control access to the replaying of a recording. The portable security module may comprise any portable memory and/or microprocessor device as is conventionally known, such as a smart card, a PCMCIA card, a microprocessor key etc. In the present case, the portable security module 102

25 has been designated as a SIM card, as is known from the field of portable telephones.

The digital recorder 100 includes a direct link 104 to the display 13. In alternative realisations, digital audiovisual information may be passed from the recorder 100 to the decoder 12 prior to display. Equally, whilst the elements of decoder 12, recorder

30 100 and display 13 have been indicated separately, it is conceivable that some or all of these elements may be merged, for example, to provide a combined decoder/television set or combined decoder/recorder etc.

Similarly, whilst the invention will be discussed in relation to the recording of audiovisual broadcast information, it may also conveniently be applied, for example, to broadcast exclusive audio information subsequently recorded on a DAT or minidisc recorder or even a broadcast software application recorded on the hard disc of a computer.

Secure Communication between Decoder and Recorder

As set out in the introduction, it is known from prior art proposed systems to re-encrypt the control word associated with a scrambled transmission with a recording key and to store the re-encrypted control word on the recording support with the scrambled transmission. Unlike the exploitation key associated with encryption and decryption of the original transmission, the recording key may be an unchanging key associated with this particular recording so as to enable the recording to be played back at any time in the future.

As will be seen from the overview of Figure 7, in order to enable independence of the recording elements of the system from the decoder elements, it is necessary that the recording key be associated with the recorder 100, for example, by storing the key in a security module associated with the recorder such as the portable security module SIM card 102. Otherwise, if the key is permanently stored at decoder 12 or smart card 30 it will not be possible for a recorder to play back a recording in the absence of the decoder.

In order to do this it will be necessary to pass certain information between the decoder 12 and the recorder 100 along the link 101. This information may be, for example, decrypted control word information that may be then re-encrypted by use of a recording key at the digital recorder. Alternatively, control word information may be encrypted by a recording key generated by the decoder, this recording key then being sent to the recorder for storage.

In all cases it is necessary to ensure a securised link between the decoder and

recorder. Unfortunately, the independence of activities between a broadcast system manager responsible for the decoder and a manufacturer of recording equipment responsible for the recorder may lead to a number of problems regarding the provision of encryption keys for this purpose.

5

For example, a broadcast operator may not place sufficient confidence in the integrity of security at the manufacturing site of a recorder to entrust the manufacturer with, for example, a secret symmetric algorithm key needed by the recorder security module 102 to decrypt communications encrypted using the equivalent key held by the decoder security module 30.

10

Furthermore, the separation of activities may make it impractical to envisage a situation in which the recorder security module 102 is sent to a broadcast system manager for personalisation with the appropriate keys. For this reason, it is necessary to envisage a solution which allows the greatest independence of operation for the decoder and recorder.

15

Figure 8 shows in schematic form a method of setting up a secure communication link between the decoder and recorder security modules 30, 102 that overcomes these problems.

20

For the sake of clarity, all encryption/decryption operations using a public/private key algorithm are indicated by means of the symbol f_a in a hexagon, whilst all operations using a symmetric algorithm are indicated by the symbol f_s in an oval.

25

As shown in Figure 5, the recorder card 102 is prepared by the recorder manufacturer using a system certificate CtKeyRec shown at 120 that is communicated to the recorder manufacturer by the broadcast system manager. As is shown at 121, this certificate corresponds to a manufacturer public key KpubMan encrypted by a broadcaster system private key KpriSystem. The private key KpriSystem is unique to and held exclusively by the system manager and it is not possible to derive this key value from the certificate CtKeyRec even if the value KpubMan is known.

30

-31-

As will become clearer from the description below, the system certificate CtKeyRec which includes the manufacturer key KpubMan serves as a guarantee by the broadcast operator of the integrity of the security of the key system of the manufacturer and, notably, the validity of the key KpubMan. The certificate is generated once only.

5 In this certifying operation, the manufacturer communicates the key KpubMan to the broadcast system manager, who encrypts the key KpubMan using the private key KpriSystem and returns the system certificate CtKeyRec. Thereafter, the manufacturer configures all recorder security modules to include the certificate CtKeyRec during the personalisation step of the recorder security modules.

10

The key KpubMan itself corresponds to a public key of a private/public key pair associated with the identity of and unique to the recorder manufacturer or source of the recorder. The corresponding private key KpriMan is held exclusively by the recorder manufacturer and is not known even to the broadcast system manager. The

15 key KpriMan is itself used to generate a device certificate CtKeySIM shown at 122. This certificate, which is unique to the recorder security module, corresponds to a recorder security module key KpubSIM encrypted by the private manufacturer key KpriMan.

20 The key KpubSIM equally corresponds to a public key of a private/public key pair associated with the identity of and unique to the recorder device. This key and the corresponding private key KpriSIM are generated by the recorder manufacturer. As shown, the private key KpriSIM is stored in the recorder security module at 124, preferably at the moment of manufacture of the chip itself.

25

In the event that an encrypted communication is to be set up between the decoder and the recorder, for example, associated with the recording of a transmission received by the decoder, the system certificate CtKeyRec is transmitted from the recorder security module 102 to the decoder security module 30 as shown at 126.

30

The decoder security module 30 includes the broadcast system public key KpubSystem shown at 125 and stored in the card 30 during personalisation by the

-32-

broadcast system manager. Using the system key KpubSystem, the decoder security module decrypts at 127 the certificate CtKeyRec in order to obtain the manufacturer public key KpubMan.

- 5 In the case of a security breach associated with the recorder source, the security module 30 can be programmed to reject certain manufacturer public key values obtained after the decryption step 127. Otherwise, the key KpubMan is stored at 128 and will be used in the next decryption steps.
- 10 As shown at 129, the recorder security module 102 then communicates the device certificate CtKeySIM, unique to that recorder security module, to the decoder security module 30. Using the manufacturer public key KpubMan, the decoder security module 30 decrypts at 130 the recorder security module public key KpubSIM.
- 15 This public key is stored at 131 in the decoder security module 30 and is then used in the encryption and communication of a session key value. This session key value, which in this example corresponds to a random number value usable by a symmetric encryption/decryption algorithm, is generated at 132, encrypted at 133 by the recorder security module public key KpubSIM and then communicated to the recorder
- 20 security module at 134.

As will be understood, in view of the nature of public/private key algorithms, this encrypted message may only be decrypted using the unique private key KpriSIM stored at 124 in the recorder security module. Decryption of the message at 135

25 leads to the extraction of the session key at 136.

Thereafter, each security module 30, 102 will possess a copy of the symmetric session key at 137, 138 for use in encryption and decryption of bi-directional messages. As mentioned above, the session key is used in combination with a

30 symmetric algorithm and equal security is provided for messages in either direction. Other embodiments not requiring bi-directional communication and using an asymmetric algorithm may be envisaged.

-33-

As shown in Figure 8, the session key is used in this embodiment to communicate control word information from the decoder to the recorder. In particular, an ECM message 139 associated with the scrambled transmission is received and decrypted by the decoder security module to obtain the clear value of the control word 140 together
5 with any other information contained therein. This control word is then re-encrypted at 141 using the session key stored at 137, and the resulting encrypted message communicated at 142 to the recorder security module 102.

Using the session key stored at 138, the recorder security module decrypts the
10 message at 143 to obtain the clear value of the control word at 144. The control word is then re-encrypted at 145 using a recording key generated internally by the recorder security module and stored at 146. The new ECM comprising this re-encrypted control word and any other information is then recorded on the recording support 147 together with the originally scrambled transmission. Upon playback of
15 the recording, the recorder security module 102 will use the recording key value stored at 146 to decrypt the ECM so as to obtain the control word value to be used in decrypting the scrambled transmission prior to display.

In order to provide a safeguard copy, the recording key may be communicated to the
20 decoder using the session key. The recording is thereafter stored in the decoder security module as a backup in the event of damage or loss of the recorder security module.

The private/public keys pairs KpriSIM, KpubSIM, KpriMan, KpubMan, KpriSystem
25 and KpubSystem may be generated in accordance with any suitable asymmetric encryption algorithm such as RSA or Diffie-Hellman. Equally, the session key and recording key may correspond to key values usable with any suitable symmetric encryption/decryption algorithm such as DES.

30 As will be understood, alternative realisations of the above embodiment are possible. In the case, for example, where the same system manager is responsible for personalising managing both decoder and recorder security modules, the initial step

of authentication using the system certificate CtKeyRec may be omitted, such that the value of KpubMan is directly inserted in the decoder module at 128.

Furthermore, in the case where the responsibility to ensure integrity of security of transmitted and recorded emissions rests with the manufacturer of the recorder, some or all of the roles of the decoder security module and recorder security module may be completely reversed, such that the recorder manufacturer certifies a public key provided by the broadcast system operator, the recorder is responsible for initiation of communication, generation of a session key etc.

10

It will also be appreciated that, below the level of the generation of a session key, any number of possibilities for communication of information for use in recording may be envisaged. For example, whilst the data communicated from the decoder to the recorder comprises the control word in the described example it may be envisaged to decrypt and re-encrypt audiovisual data itself before communication to the recorder card. Alternatively, or in addition, the recording key may be generated at the decoder security module and communicated to the recorder security module.

15

Finally, whilst the above description has focused on the validation and communication of information in relation to single sources of recorders or decoders, the invention may equally expanded to cover multiple decoder and/or recorder sources. For example, a recorder security module may include a plurality of system certificates CtKeyRec associated with a plurality of broadcast system managers. Equally a decoder security module may be adapted to handle a plurality of recorder manufacturer management keys KpubMan obtained after the first verification step is carried out.

20

25

Whilst the use of a changing session key increases the level of security, other realisations can be envisaged where a constant session key is used or where the public/private keys KpubSIM/KpriSIM are used to directly encrypt information communicated from the one device to the other device. The session key may itself comprise a private/public key pair.

30

CLAIMS

1. A method of providing secure communication of information between at least a first and second digital audiovisual device and characterised in that the second device
5 receives a certificate comprising a transport public key encrypted by a management private key, the second device decrypting the certificate using an equivalent management public key and thereafter using the transport public key to encrypt information sent to the first device, the first device using an equivalent private key to decrypt the information.
10
2. A method as claimed in claim 1 in which the transport private/public key pair are uniquely associated with the first and second device.
3. A method as claimed in any preceding claim in which the encrypted information
15 sent by the second device comprises a session key.
4. A method as claimed in claim 3 in which the session key is a key generated by the second device and usable in conjunction with a symmetric encryption algorithm.
- 20 5. A method as claimed in claim 3 or 4 in which the session key is used by the first device to encrypt control word information subsequently communicated to the second device.
- 25 6. A method as claimed in claim 5 in which the second device decrypts the control word information using the equivalent session key and thereafter descrambles the section of a scrambled transmission associated with this control word.
7. A method as claimed in any preceding claim in which the first and second devices comprise a respective first and second portable security module.
30
8. A method as claimed in any preceding claim in which the second device receives a system certificate comprising the management public key encrypted by a system

-36-

private key, the second device decrypting the system certificate using a system public key so as to obtain the management public key used thereafter to decrypt the encrypted transport public key.

5 9. A method as claimed in any preceding claim in which the communication link between the first and second devices is implemented by a bus connection.

10 10. A method as claimed in any preceding claim in which the first and second digital audiovisual devices comprise a first and second decoder.

11. A method as claimed in claim 10 in which the first and second decoders are adapted to receive digital television transmissions.

12. A method as claimed in any of claims 1 to 9 in which the first and second digital
15 audiovisual devices comprise a decoder device and a recorder device.

13. A method of providing secure communication of information between a decoder
device and a recorder device and characterised in that a first one of the devices
communicates to the second device a certificate comprising a device public key
20 encrypted by a management private key, the second device decrypting the certificate
using an equivalent management public key and thereafter using the device public key
to encrypt information sent to the first device, the first device using an equivalent
device private key to decrypt the information.

25 14. A method as claimed in claim 13 in which the first device communicates to the
second device a system certificate comprising the management public key encrypted
by a system private key, the second device decrypting the system certificate using a
system public key so as to obtain the management public key used thereafter to
decrypt the device certificate.

30

15. A method as claimed in claim 13 or 14 in which the device private/public key
pair are uniquely associated with the identity of the first device.

-37-

16. A method as claimed in any of claims 13 to 15 in which the management private/public key pair are uniquely associated with the source of the first device.
17. A method as claimed in claim 14 in which the system private/public key pair are uniquely associated with the source of the second device.
18. A method as claimed in any of claims 13 to 17 in which the encrypted information sent by the second device comprises a session key.
19. A method as claimed in claim 18 in which the session key is a key generated by the second device and usable in conjunction with a symmetric encryption algorithm.
20. A method as claimed in claim 18 or 19 in which the session key is used by the decoder device to encrypt control word information subsequently communicated to the recorder device.
21. A method as claimed in claim 20 in which the recorder device may decrypt the control word information using the equivalent session key and thereafter re-encrypt the control word information using a recording encryption key, the re-encrypted control word information being stored by the recorder device on a recording support medium together with the scrambled transmission data associated with that control word information.
22. A method as claimed in claim 21 in which the recorder device communicates to the decoder device a copy of the recording encryption key.
23. A method as claimed in claim 22 in which the recorder device communicates a copy of the recording encryption key as encrypted by the session key.
24. A method as claimed in any of claims 13 to 23 in which at least one of the recorder device and decoder device comprises at least one portable security module.

-38-

25. A method as claimed in any of claims 13 to 24 in which the first device corresponds to a recorder device and the second device to a decoder device.
26. A method as claimed in any of claims 13 to 25 in which the decoder device is
5 adapted to receive a digital television transmission.
27. A method of providing secure communication of information between at least a first and second digital audiovisual device substantially as herein described.

1/8

Fig.1.

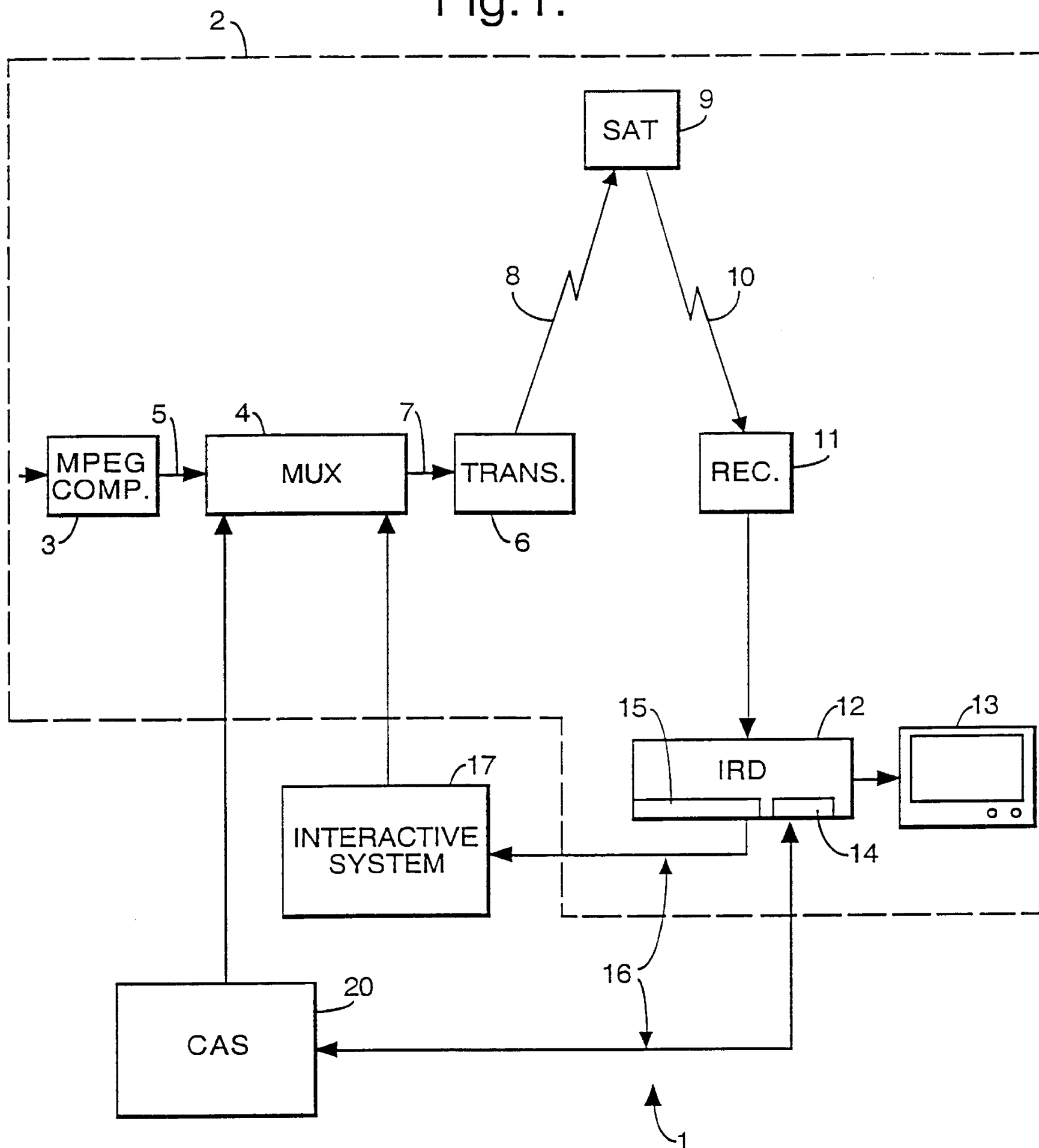


Fig.2.

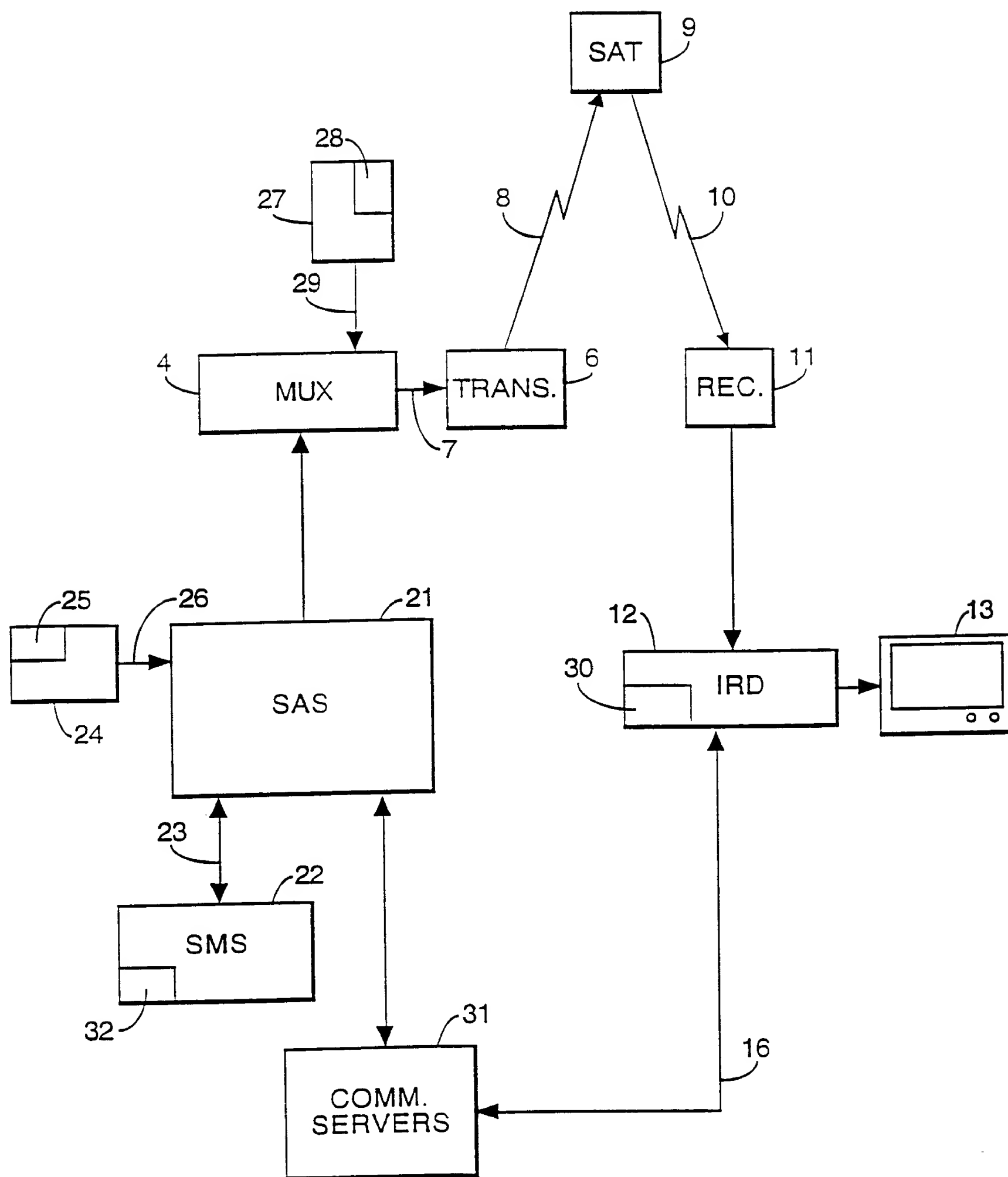


Fig.3.

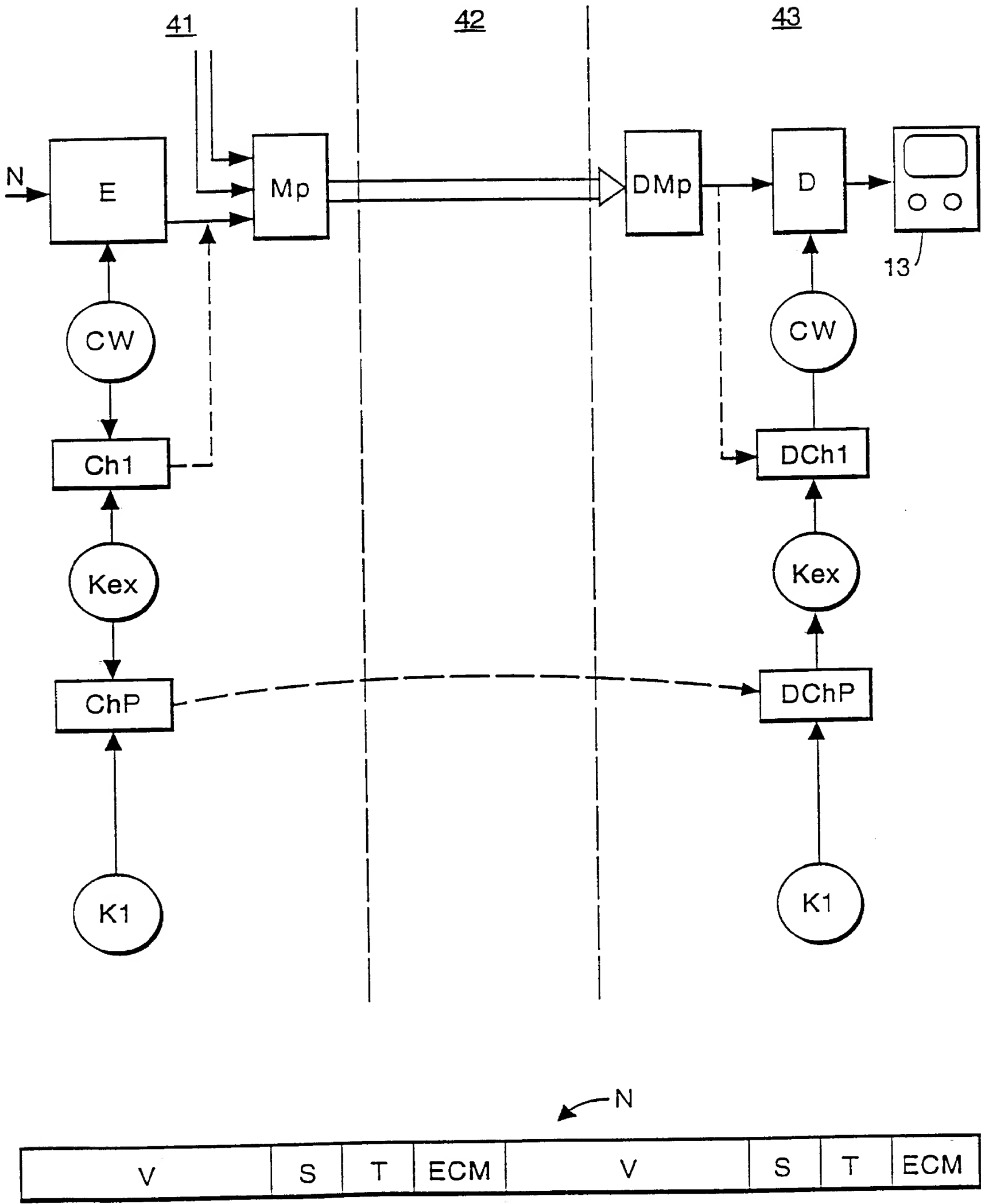


Fig.4.

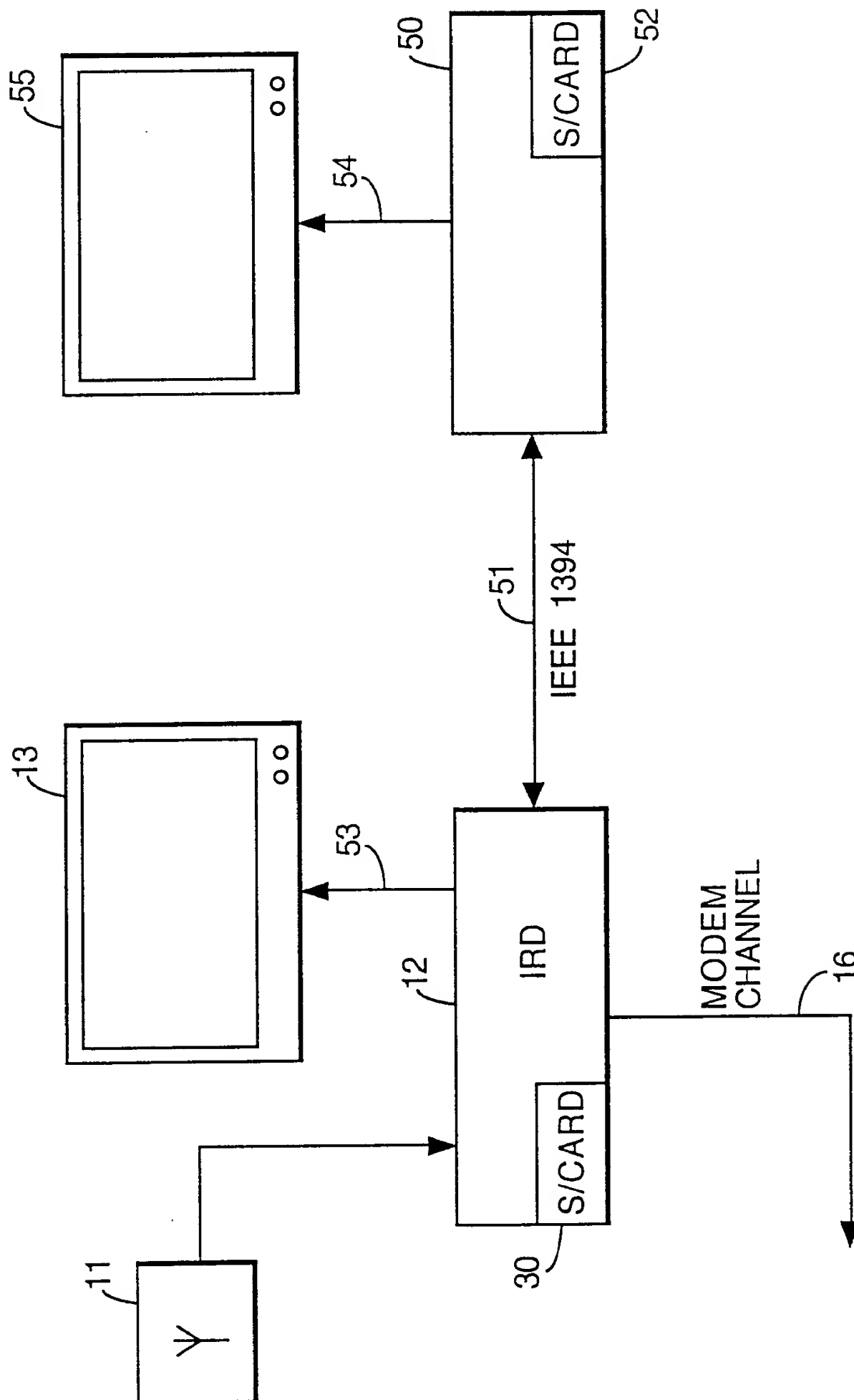
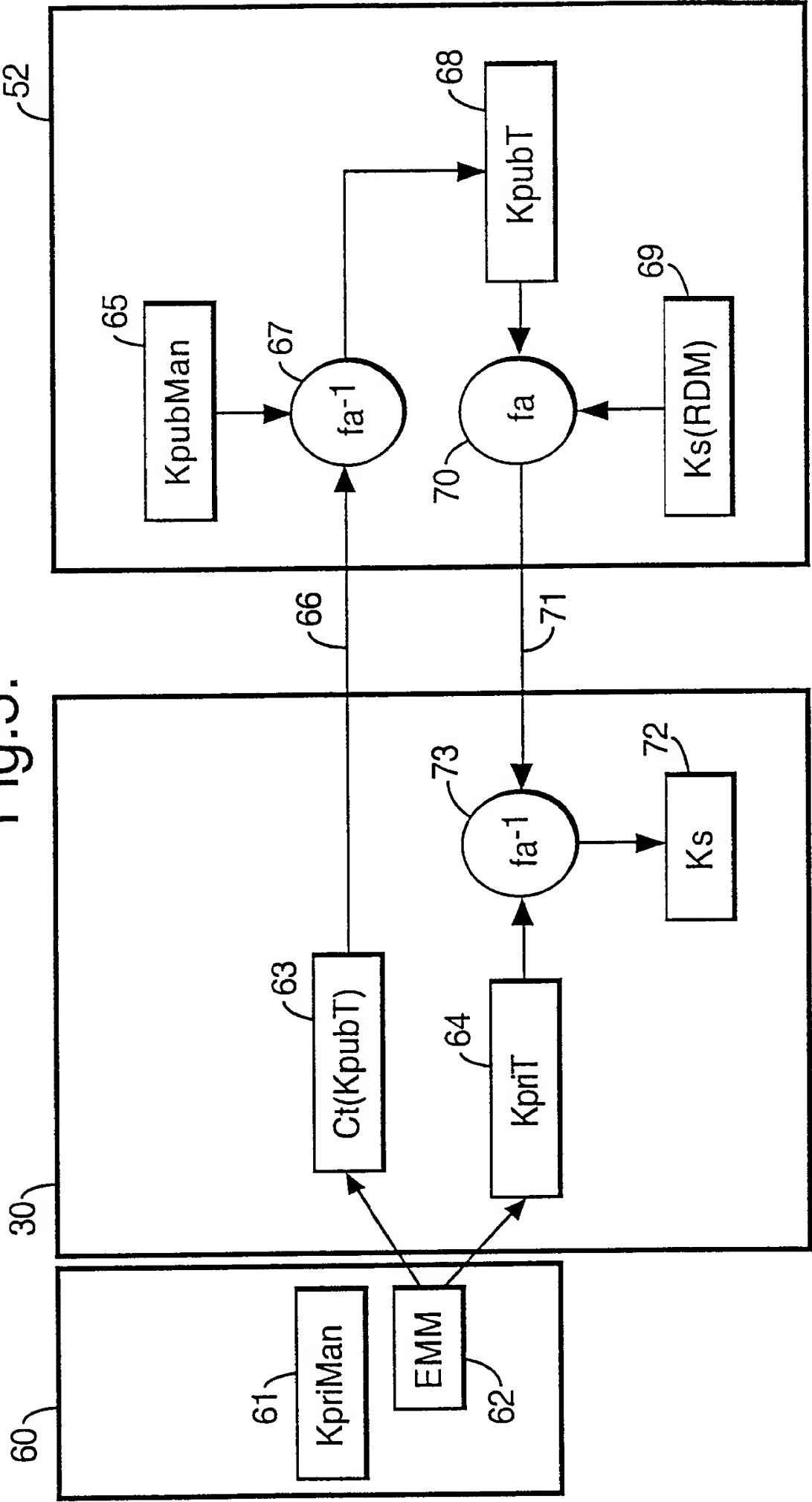
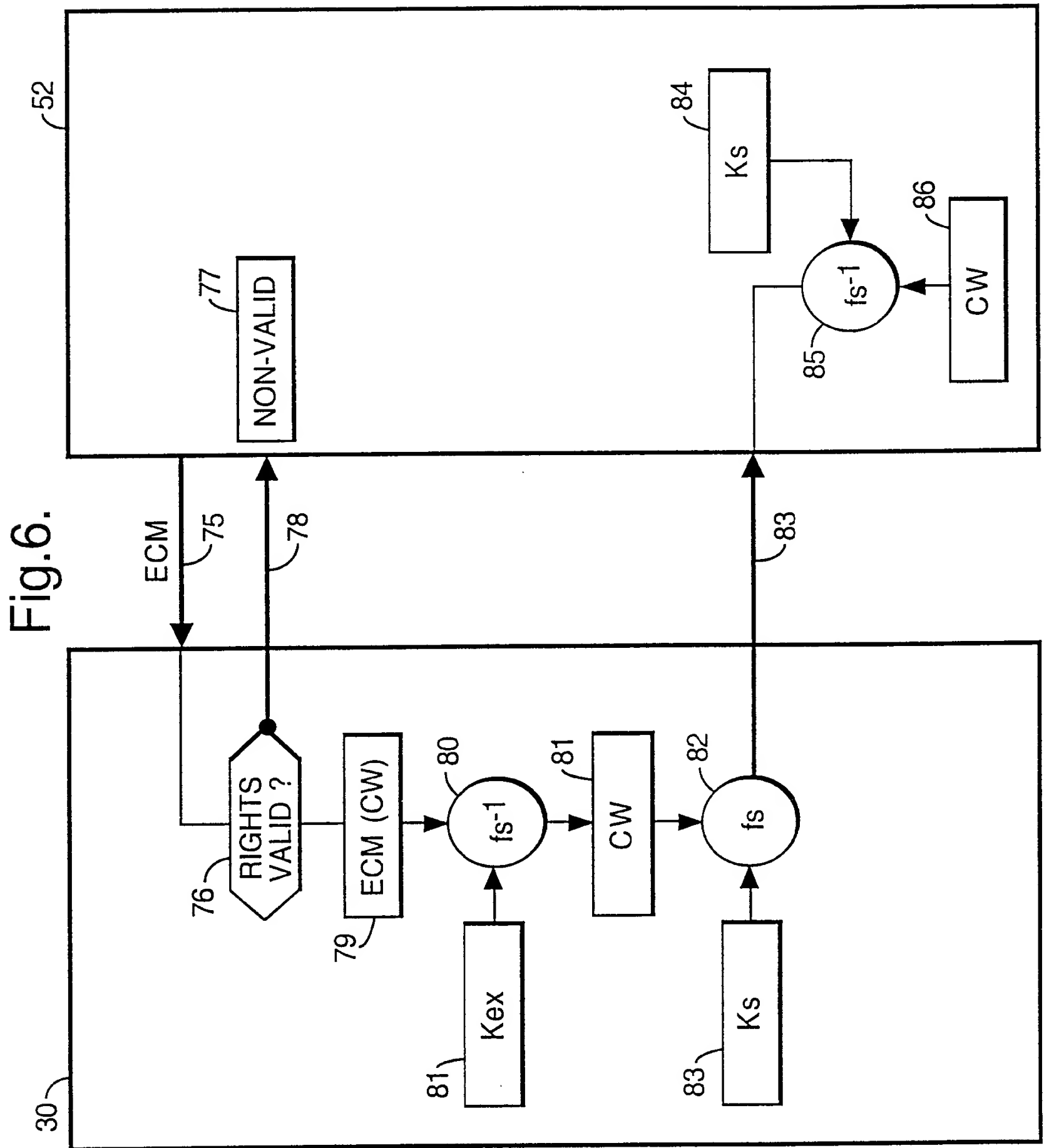


Fig. 5.





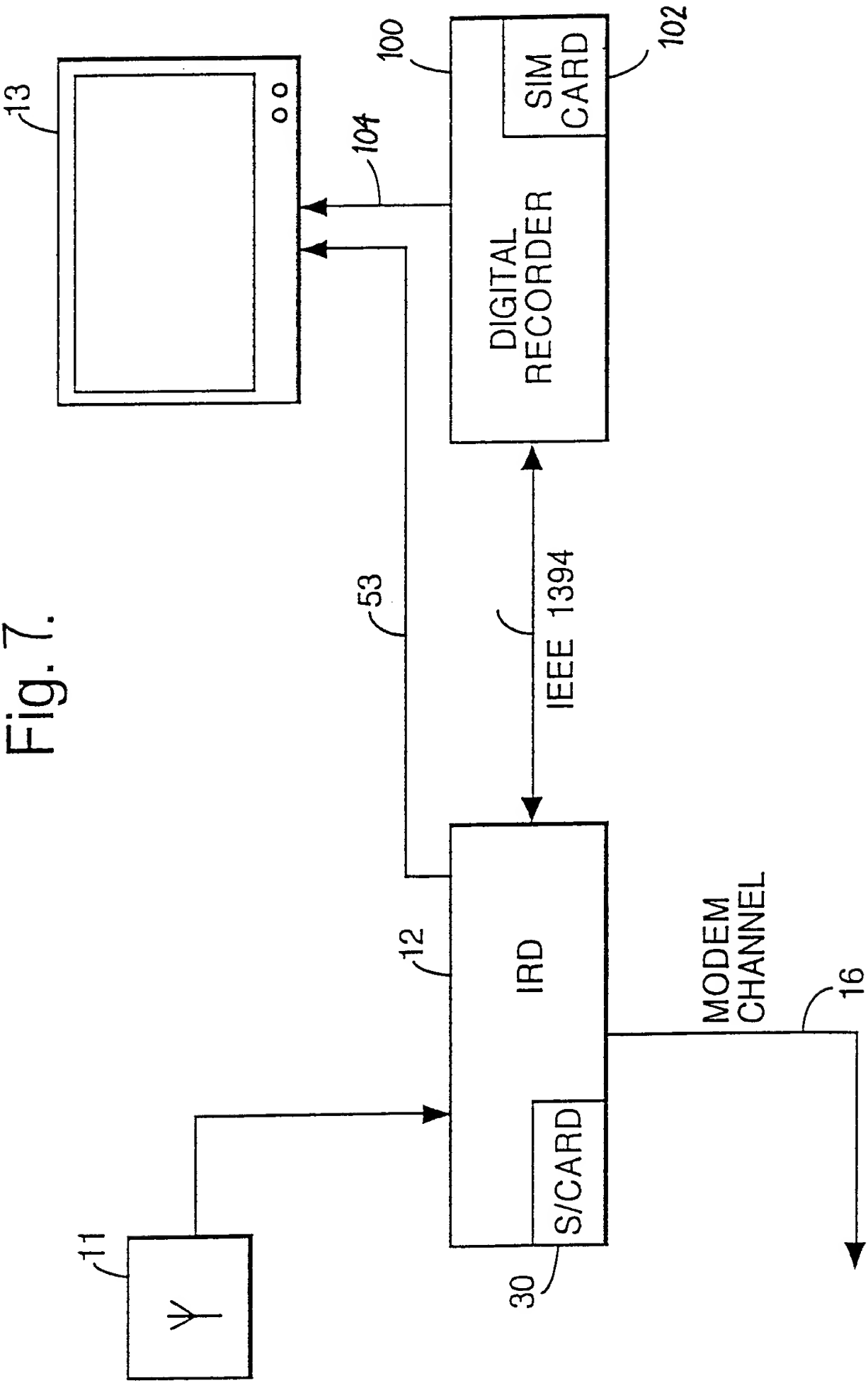
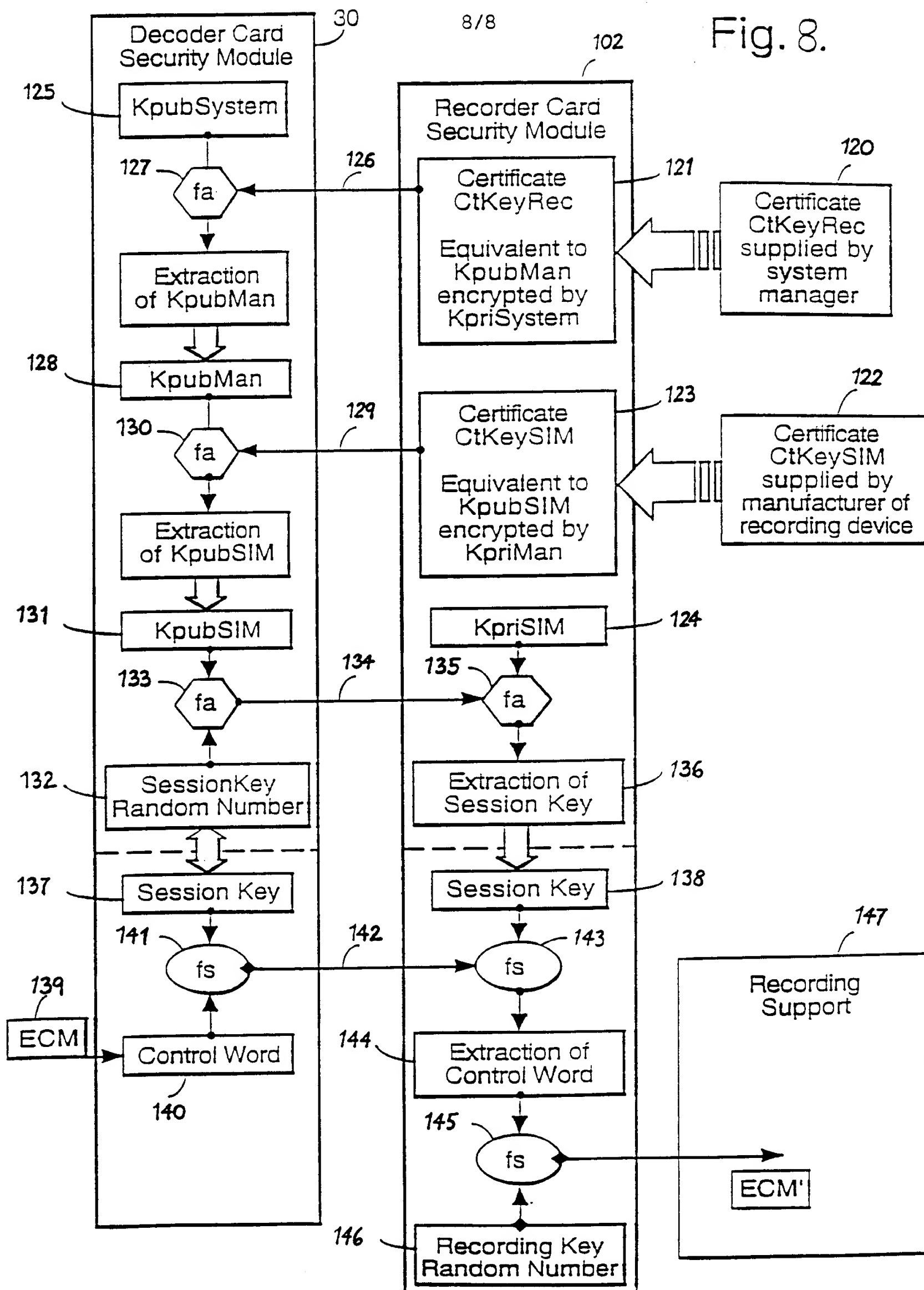


Fig. 8.



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No
PCT/IB 99/01323

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
IPC 7 H04N7/167 H04L29/06

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
IPC 7 H04N H04L G06F

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y Y A	<p>WO 97 38530 A (DIGCO B V ; RIX SIMON PAUL ASHLEY (ZA); GLASSPOOL ANDREW (GB); DAVI) 16 October 1997 (1997-10-16)</p> <p>page 1, line 19 - line 26 page 4, line 1 - page 5, line 10 ---</p> <p>US 5 748 732 A (LE BERRE JACQUES ET AL) 5 May 1998 (1998-05-05)</p> <p>column 1, line 17 - column 2, line 16 column 3, line 23 - line 35 column 3, line 64 - column 4, line 43 --- -/--</p>	<p>1,3,5,6, 12,13, 26,27 10,11, 24,25</p> <p>10,11 9</p>

☒ Further documents are listed in the continuation of box C.

☒ Patent family members are listed in annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier document but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

29 October 1999

Date of mailing of the international search report

05/11/1999

Name and mailing address of the ISA

European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

Sindic, G

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Inter onal Application No

PCT/IB 99/01323

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 97 35430 A (NEWS DATACOM LTD ;TSURIA YOSSEF (IL)) 25 September 1997 (1997-09-25)	10,11
A	page 3, line 1 -page 4, line 16 ---	9
Y	"ENCRYPTION OF INFORMATION TO BE RECORDED SO AS TO PREVENT UNAUTHORIZED PLAYBACK" RESEARCH DISCLOSURE, no. 335, 1 March 1992 (1992-03-01), page 219 XP000301128 ISSN: 0374-4353 the whole document ---	24,25
A	FORD W ET AL: "PUBLIC-KEY CRYPTOGRAPHY AND OPEN SYSTEMS INTERCONNECTION" IEEE COMMUNICATIONS MAGAZINE, vol. 30, no. 7, 1 July 1992 (1992-07-01), pages 30-35, XP000307910 page 2, paragraph 5 ---	1,13,27
A	FR 2 732 537 A (CANAL PLUS SA) 4 October 1996 (1996-10-04) page 2, line 12 -page 3, line 23 ---	13,18
A	US 4 633 309 A (LI TONY C ET AL) 30 December 1986 (1986-12-30) column 2, line 36 - line 68 -----	9

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No

PCT/IB 99/01323

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 9738530 A	16-10-1997	AU 2506397 A CA 2250833 A CN 1215528 A EP 0891670 A HR 970160 A	29-10-1997 16-10-1997 28-04-1999 20-01-1999 28-02-1998
US 5748732 A	05-05-1998	FR 2730372 A EP 0726676 A JP 8251569 A	09-08-1996 14-08-1996 27-09-1996
WO 9735430 A	25-09-1997	IL 117547 A AU 1317597 A EP 0826288 A GB 2311451 A, B	14-07-1999 10-10-1997 04-03-1998 24-09-1997
FR 2732537 A	04-10-1996	NONE	
US 4633309 A	30-12-1986	CA 1250656 A	28-02-1989